

ALWAYS

MAY 2021
PRESENTATION
MATERIAL

MAY 13, 2021

FY
2020

FULL YEAR

東証第一部：2489
株式会社アドウェイズ
2021年3月期決算説明会
2021年5月13日

代表取締役社長
岡村 陽久

目次

1. 通期業績	...P.5
2. 第4四半期の業績	...P.17
3. 株主還元	...P.27
4. 業績予想	...P.29
5. 事業概況	...P.36
6. 補足資料	...P.54

代表取締役の変更

(2021年2月16日開示)

代表取締役社長 岡村陽久は、設立時から当社グループの先頭に立ち経営を牽引して参りましたが、更なる躍進をするため、今までにない柔軟な発想、日々進歩するテクノロジーへの高い知見、グループを統率する新たなリーダーシップ等が必要と考え、下記のとおり代表取締役を変更させて頂く予定です。

氏名	新役職	現役職
山田 翔	代表取締役 社長	取締役 新規領域担当
岡村 陽久	取締役 会長	代表取締役 社長

2021年6月24日開催予定の当社第21期定時株主総会で、岡村陽久を取締役に選任する議案及び当社定款第22条(代表取締役及び役付取締役)第2項に「取締役会決議により取締役会長1名を定める」ことを追加する議案が承認された場合に、同日開催予定の取締役会で新役職が正式に承認される予定です。

就任予定：2021年7月1日

自己株式取得について

(2021年2月16日・2021年2月26日開示)

株主還元及び、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、下記の通り自己株式の取得を致しました。

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	3,312,100 株（発行済株式総数に対する割合：7.96%）
株式の取得価額の総額	2,999,996,300 円（上限：3,000百万円）
取得期間	2021年2月18日～2021年2月25日（約定ベース）

上記により2021年3月期第3四半期と比較して2021年3月期第4四半期の純資産額が、25億62百万円減少しております。

[単位：百万円]

	2021年3月期4Q	2021年3月期3Q	増減額	増減率
純資産合計	11,223	13,785	▲2,562	▲18.6%

※本資料の61ページに連結貸借対照表がございます。

Chapter1 : **Full Year FY2020 results**

1.

通期
業績

2021年3月期業績予想と実績

[単位：百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
業績予想※1	47,200	1,230	1,400	900
実績	49,020	1,626	1,866	1,422
達成率※2	103.9%	132.2%	133.3%	158.0%

※1「業績予想」とは2021年2月10日付け「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表した数値 ※2小数点第2位を四捨五入

売上高

QRコード決済アプリ、クレジットカードなどの広告費が大幅に増加した事で、国内広告事業での売上高が業績予想を超える伸長。

営業利益

売上高が伸長した事により売上総利益が伸長、それに伴い営業利益が増加。

経常利益・
親会社株主に帰属する
当期純利益

営業利益の増加に伴い増加。

当期業績と前期比較

[単位：百万円]

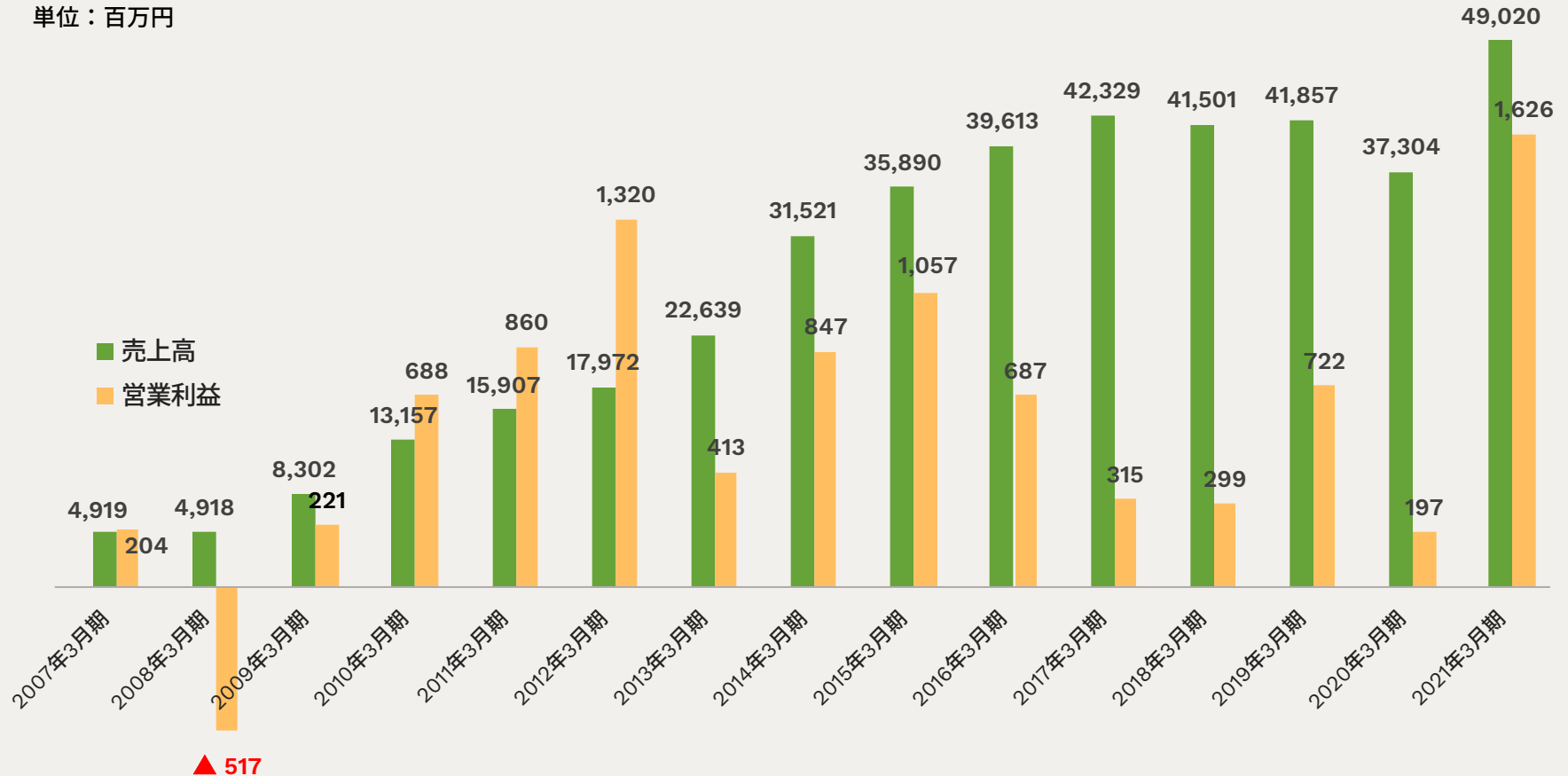
	2021年3月期 累計	前期比 2020年3月期累計		
		実績	増減額	増減率
売上高	49,020	37,304	+11,716	+31.4%
売上総利益	8,767	6,504	+2,262	+34.8%
販管費	7,141	6,307	+833	+13.2%
営業利益	1,626	197	+1,428	+724.9%
経常利益	1,866	406	+1,459	+358.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,422	164	+1,257	+763.4%

売上高 前年比 **117億16百万円の増加** (31.4%増)

営業利益 前年比 **14億28百万円の増加** (724.9%増)

年間売上高・営業利益

単位：百万円

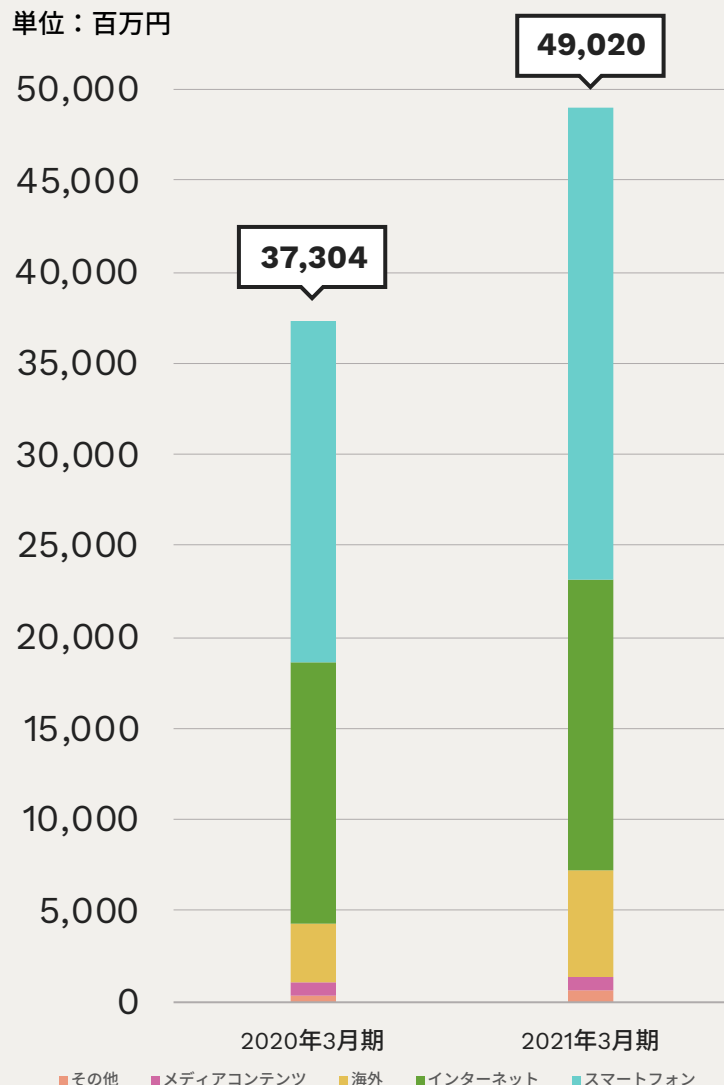


売上高 過去最高額を達成。

営業利益 過去最高益を達成。

売上高の前期比較

単位：百万円



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

国内広告業・・・417億47百万円

前期比：87億円増（26.3%増）

スマートフォン・・・259億30百万円

（主にアプリ広告）

前期比：72億85百万円増（39.1%増）

UNICORNの売上増加に加え、ゲームアプリ、マンガアプリ、QRコード決済アプリの広告費が増加。

インターネット・・・158億16百万円

（PCWeb広告及びスマートフォンWeb広告）

前期比：14億14百万円増（9.8%増）

ローンやクレジットカードの金融クライアントの広告費が増加。

海外事業・・・59億17百万円

前期比：27億14百万円増（84.8%増）

中国クライアントの国外展開強化に伴う、グローバル広告配信により広告費が増加。台湾でEC広告、ブランド広告が伸長。

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2021年3月期の連結決算対象期間は2020年1月～12月となります。

売上高の前期比較 (主な増加要因)

スマートフォン・・・259億30百万円

(主にアプリ広告)

前期比：72億85百万円増 (39.1%増)

【主な増加要因】

■UNICORN

ゲーム、マンガ、VODなど各ジャンルを拡大。

■マンガアプリ

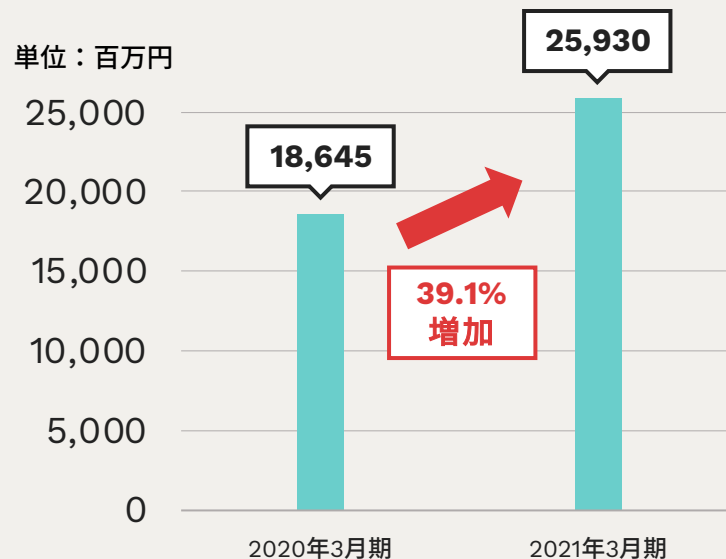
クライアントの要望に応える事で広告需要を拡大。

■ゲームアプリ

有力クライアントの大型ゲームアプリを受注。

■マンガ・ゲーム以外のアプリ

QRコード決済アプリを中心に複数の有力アプリを受注。



海外事業・・・・・・ 59億17百万円

前期比：27億14百万円増 (84.8%増)

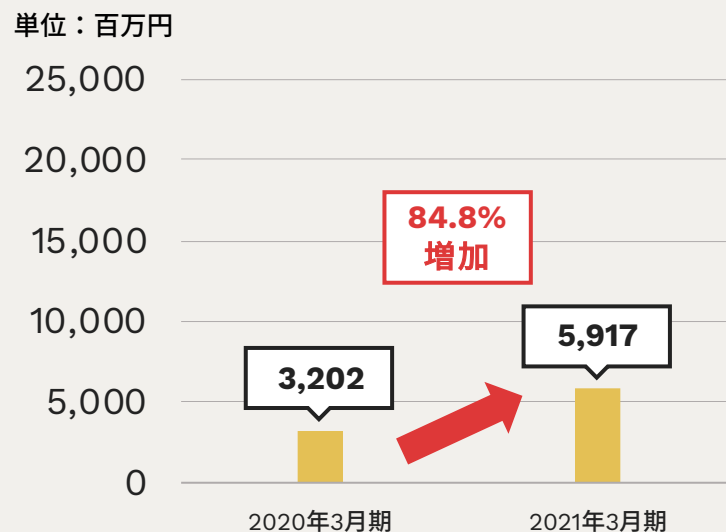
【主な増加要因】

■中国

中国クライアントの国外展開強化に伴う広告配信を拡大。

■台湾

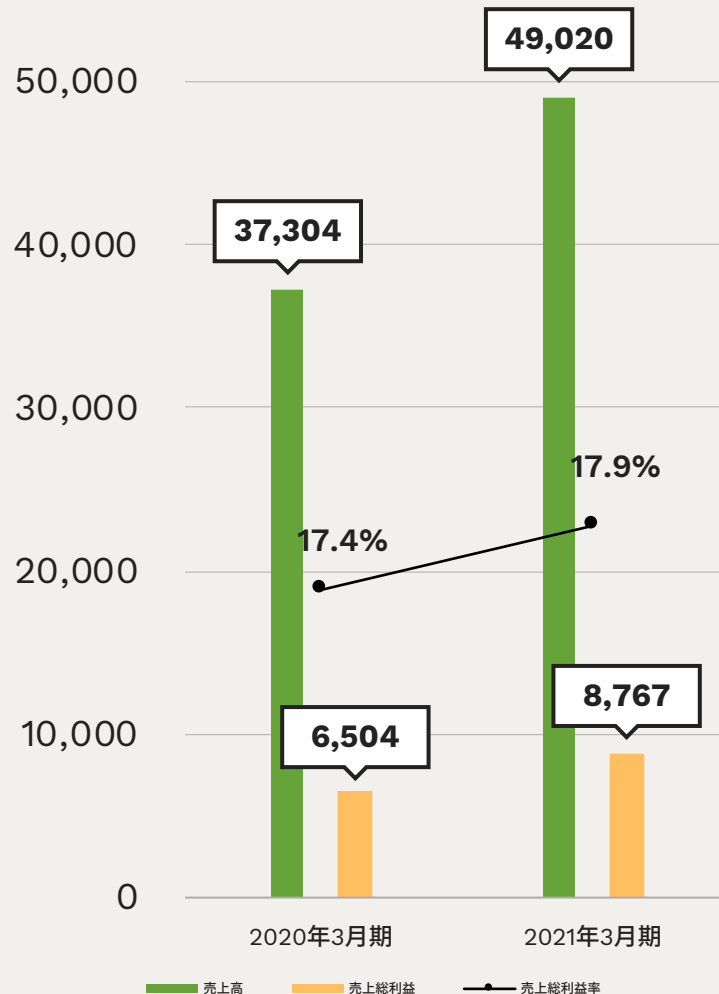
台湾でのEC広告、ブランド広告を大幅に拡大。



※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2021年3月期の連結決算対象期間は2020年1月～12月となります。

売上総利益の前期比較

単位：百万円



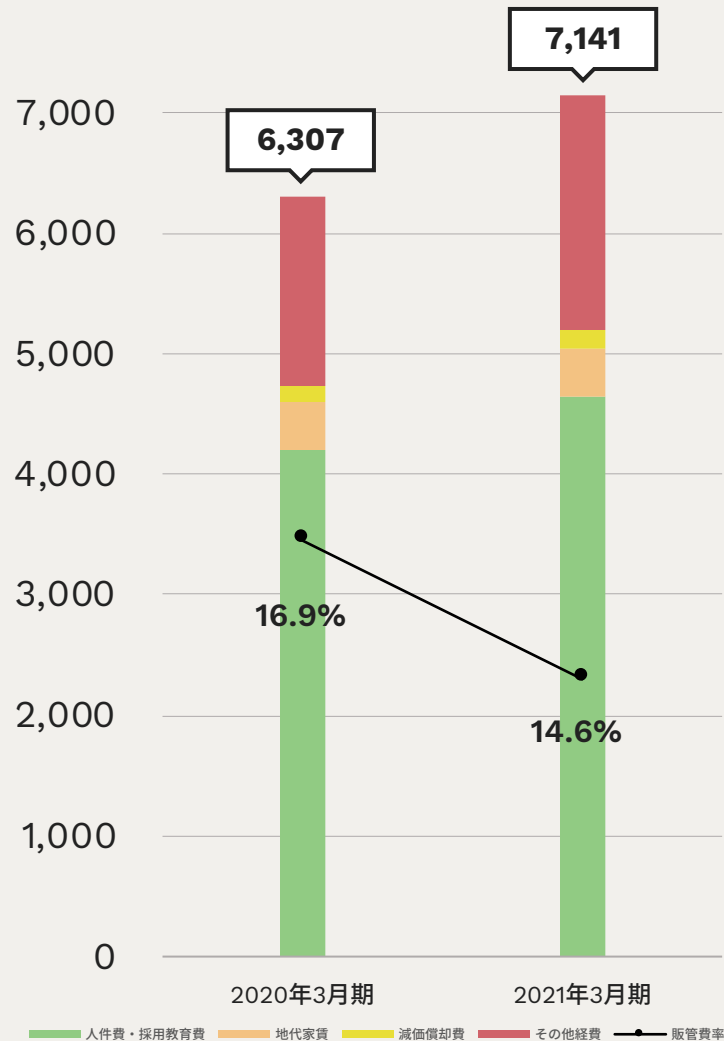
当期売上総利益 87億67百万円

前 期 比：22億62百万円増（34.8%増）

売上総利益率：17.9%（0.5ポイント増）

販管費の前期比較

単位：百万円



当期販管費

71億41百万円

前 期 比：8億33百万円増（13.2%増）

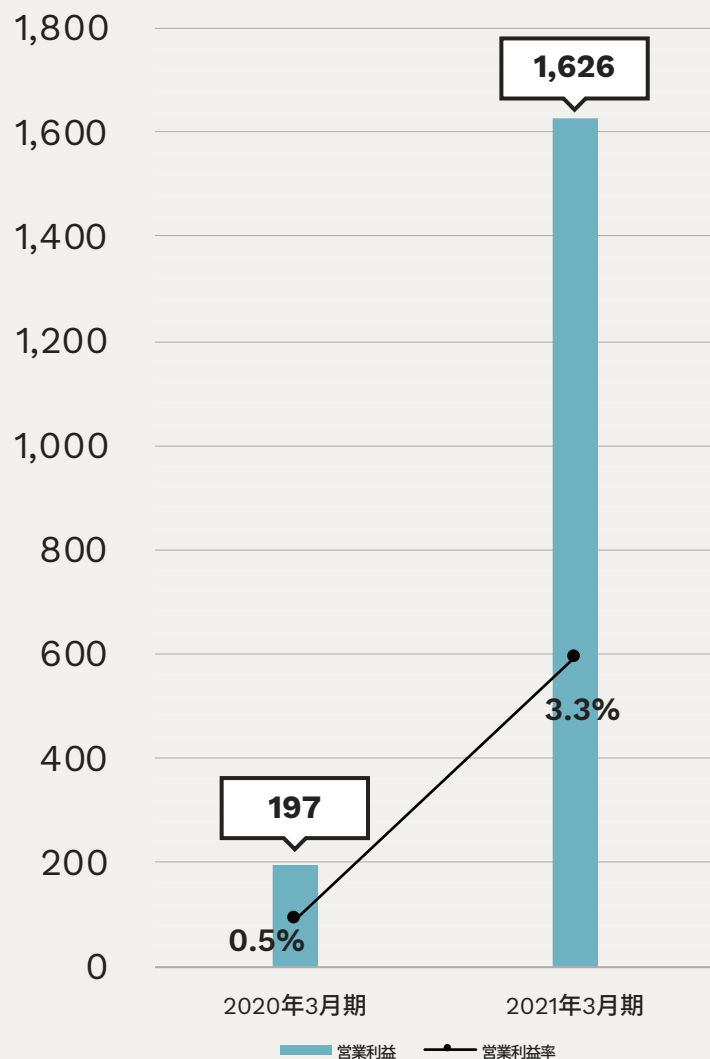
販 管 費 率：14.6%（2.3ポイント減）

主な増加要因

・人件費・採用教育費の増加：約4億54百万円増

営業利益の前期比較

単位：百万円



当期営業利益

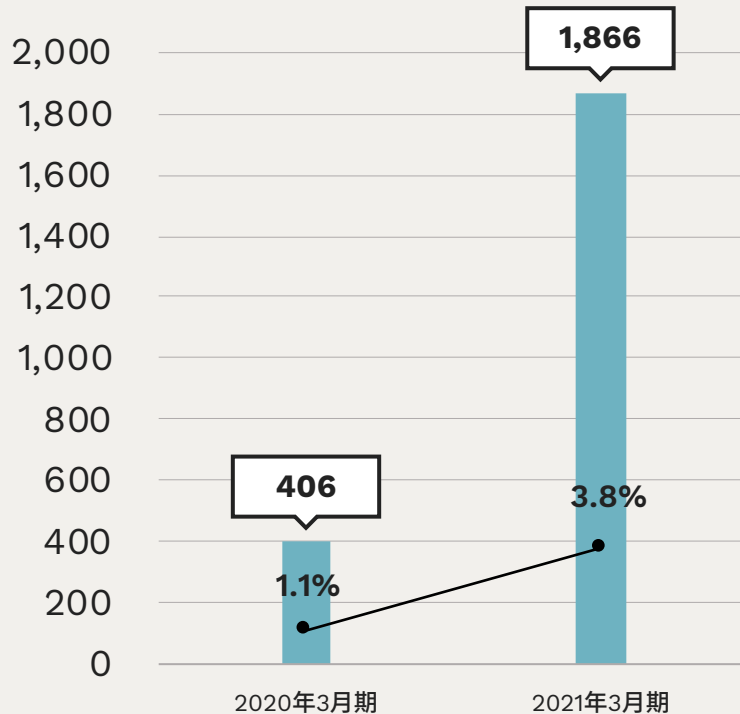
16億26百万円

前期比：14億28百万円増（724.9%増）

営業利益率：3.3%（2.8ポイント増）

経常利益の 前期比較

単位：百万円



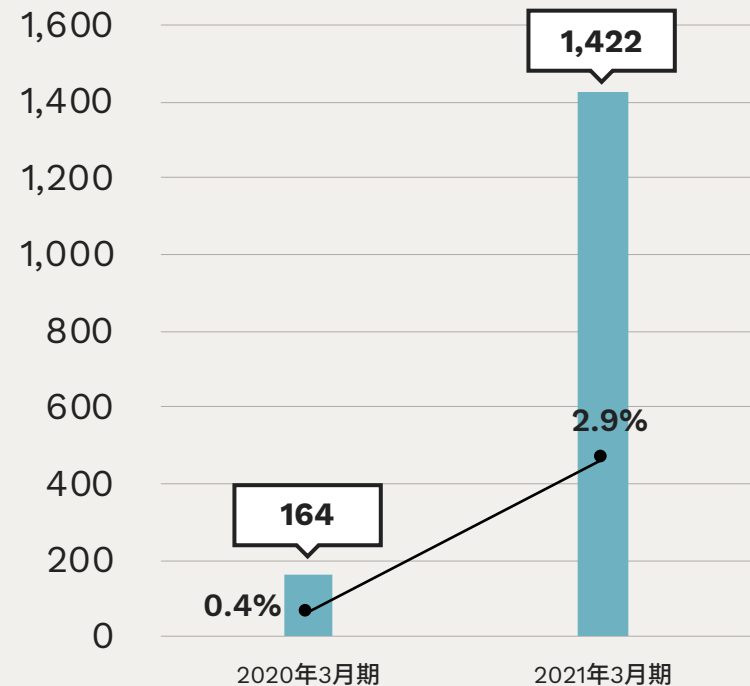
当期経常利益 18億66百万円

前期比：14億59百万円増（358.7%増）

経常利益率：3.8% （2.7ポイント増）

親会社株主に帰属する 当期純利益の 前期比較

単位：百万円



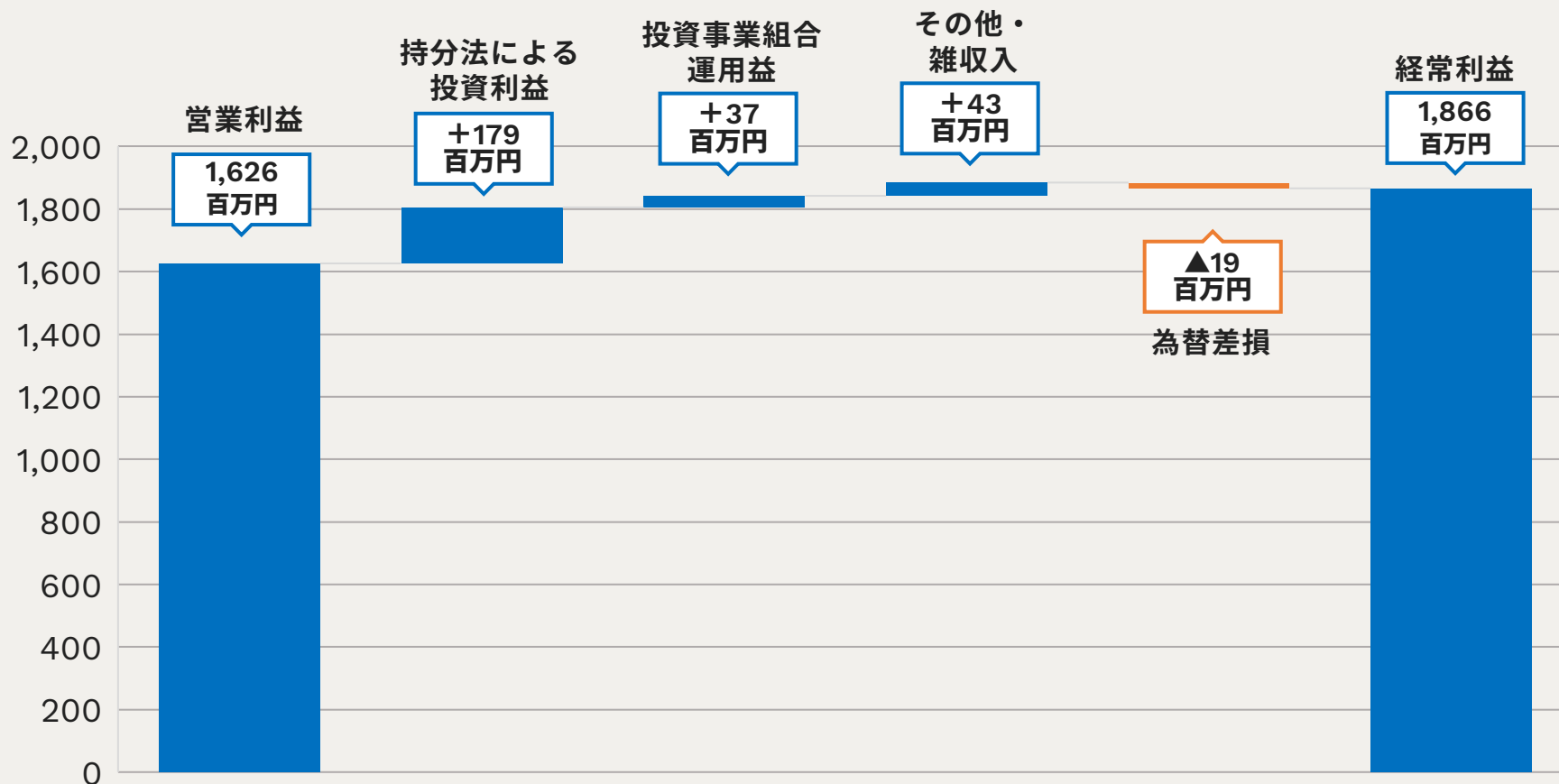
親会社株主に帰属する

当期純利益 14億22百万円

前期比：12億57百万円増（763.4%増）

利益率：2.9% （2.5ポイント増）

経常利益の推移



単位：百万円

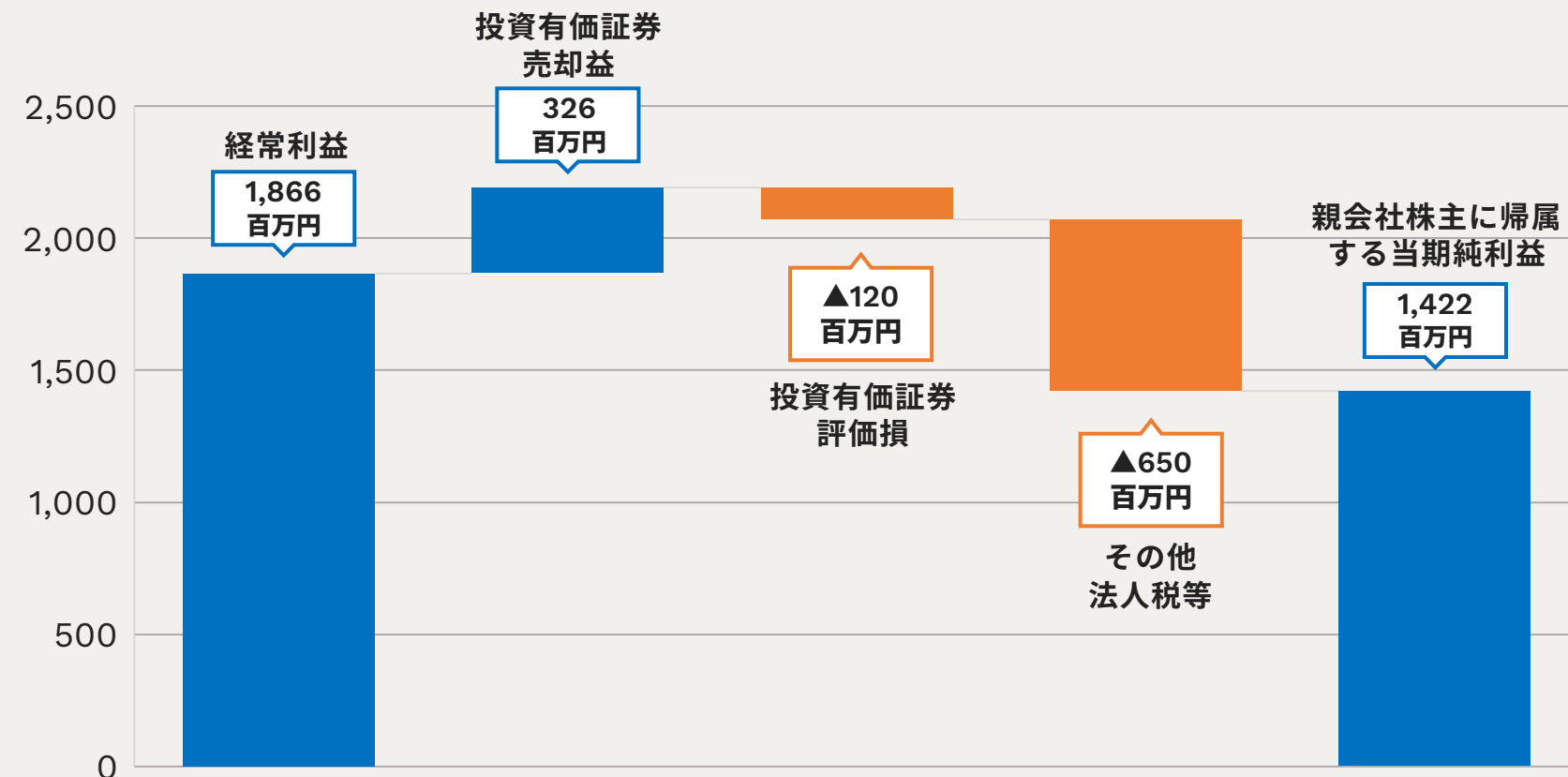
持分法による投資利益 . . . 1億79百万円

投資事業組合運用益 . . . 37百万円

その他・雑収入 . . . 43百万円

為替差損 . . . ▲19百万円

親会社株主に帰属する当期純利益の推移



単位：百万円

投資有価証券売却益 3億26百万円

投資有価証券評価損 ▲1億20百万円

その他法人税等 ▲6億50百万円

Chapter2 : **Fourth quarter results**

2 .

第4
四半期
の業績

当四半期の業績と 前年同四半期・前四半期比較

[単位：百万円]

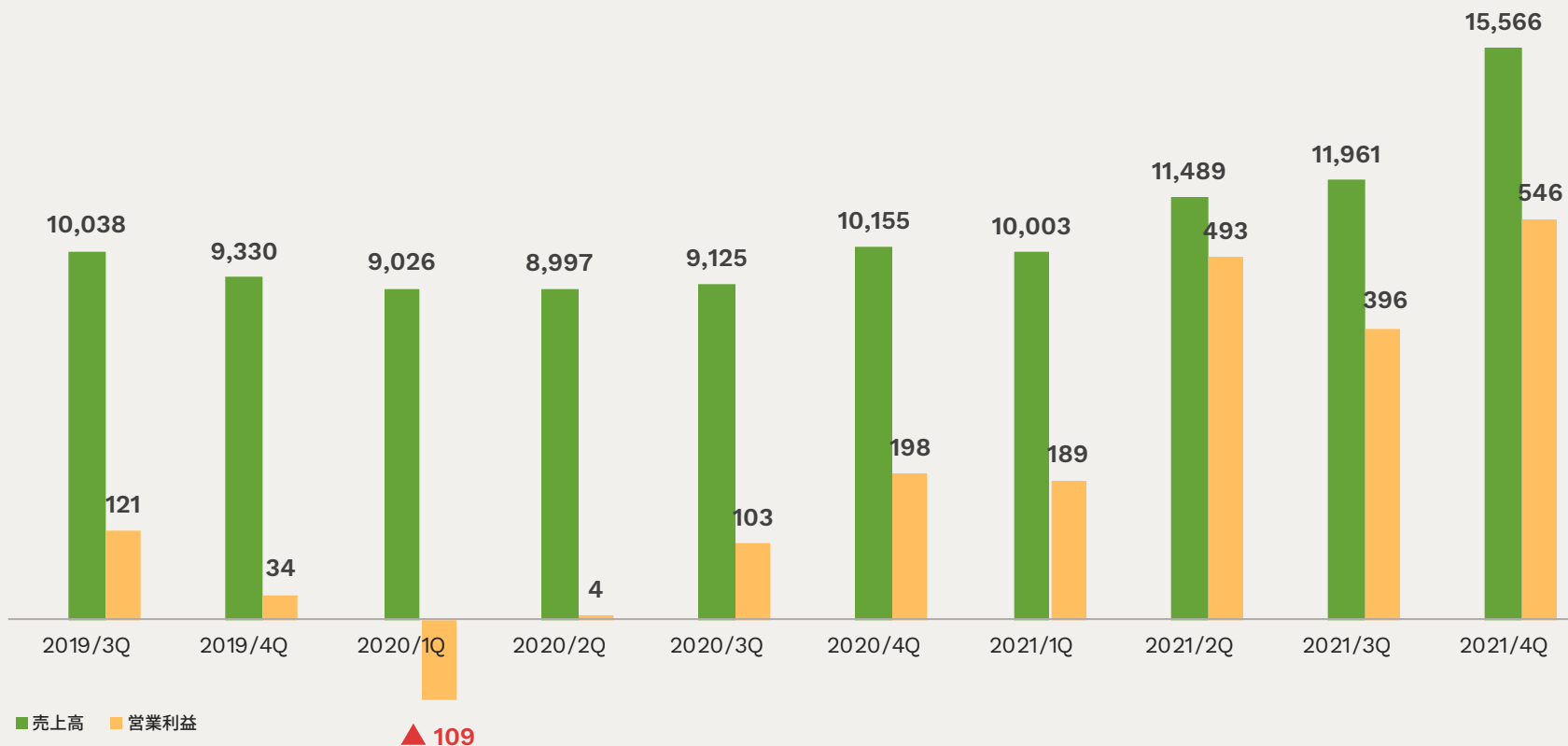
	2021年3月期 第4四半期	前年同四半期比 2020年3月期第4四半期			前四半期比 2021年3月期第3四半期		
		実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
売上高	15,566	10,155	+5,411	+53.3%	11,961	+3,605	+30.1%
売上総利益	2,580	1,854	+726	+39.2%	2,192	+388	+17.7%
販管費	2,034	1,656	+377	+22.8%	1,795	+238	+13.3%
営業利益	546	198	+348	+175.9%	396	+149	+37.7%
経常利益	560	264	+295	+111.6%	438	+121	+27.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	514	309	+205	+66.6%	315	+199	+63.2%

売上高 前年同四半期比 **54億11百万円の増加** (53.3%増)
前四半期比 **36億5百万円の増加** (30.1%増)

営業利益 前年同四半期比 **3億48百万円の増加** (175.9%増)
前四半期比 **1億49百万円の増加** (37.7%増)

四半期売上高・営業利益 (2019年3月期第3四半期以降)

単位：百万円



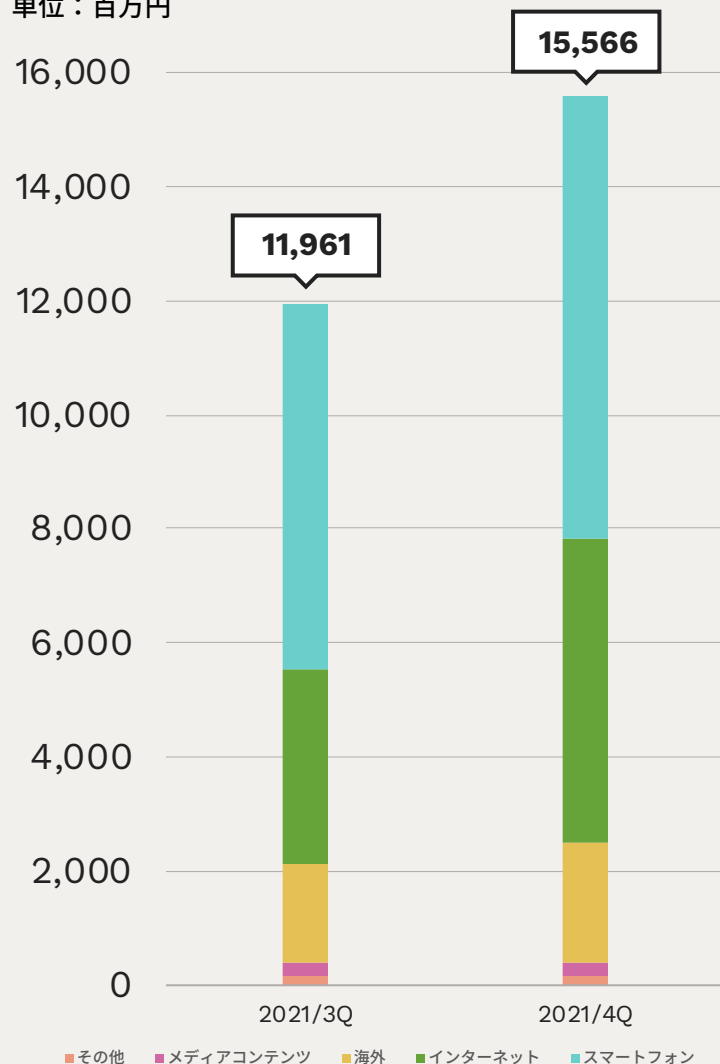
売上高 四半期での過去最高額を更新。

営業利益

四半期での過去最高益を更新。

売上高の前四半期比較

単位：百万円



Copyright © Adways Inc. All Rights Reserved.

国内広告業・・・130億68百万円

前四半期比：32億30百万円増（32.8%増）

スマートフォン・・・77億56百万円

（主にアプリ広告）

前四半期比：13億47百万円増（21.0%増）

一部のゲームアプリで広告費の減少があったものの、QRコード決済アプリ、マンガアプリで広告費が増加。

インターネット・・・53億12百万円

（PCWeb広告及びスマートフォンWeb広告）

前四半期比：18億82百万円増（54.9%増）

大手消費者金融の広告費が増加。クレジットカードの広告についても期末のため、大幅に増加。

海外事業・・・20億97百万円

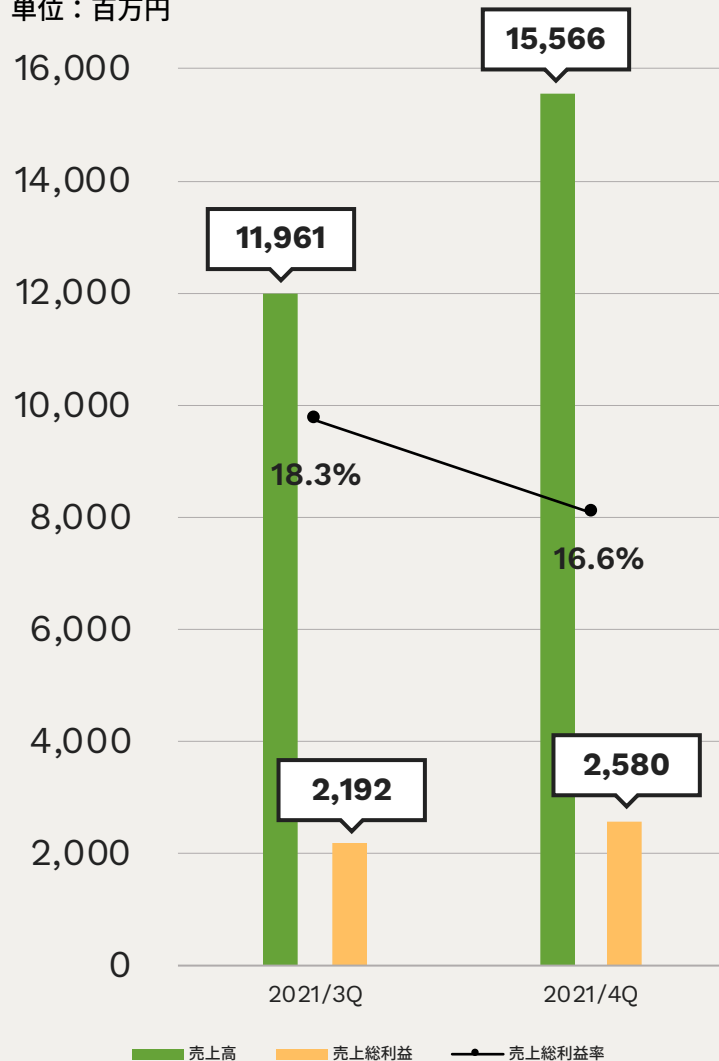
前四半期比：3億53百万円増（20.2%増）

中国クライアントの国外展開強化に伴う、グローバル広告配信により広告費が増加。台湾でEC広告、ブランド広告が伸長。

※海外子会社の決算期は12月のため、当社グループにおける2021年3月期第4四半期会計期間の連結決算対象期間は10月～12月となります。

売上総利益の前四半期比較

単位：百万円



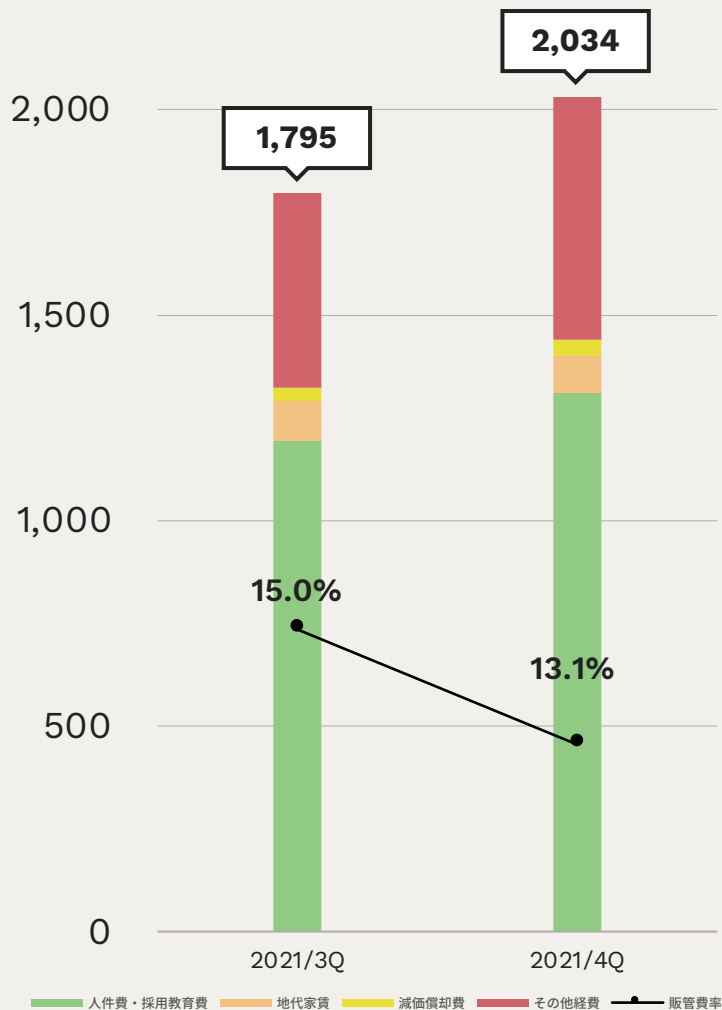
当四半期売上総利益 25億80百万円

前四半期比：3億88百万円増（17.7%増）

売上総利益率：16.6%（1.7ポイント減）

販管費の前四半期比較

単位：百万円



当四半期販管費 20億34百万円

前四半期比：2億38百万円増（13.3%増）

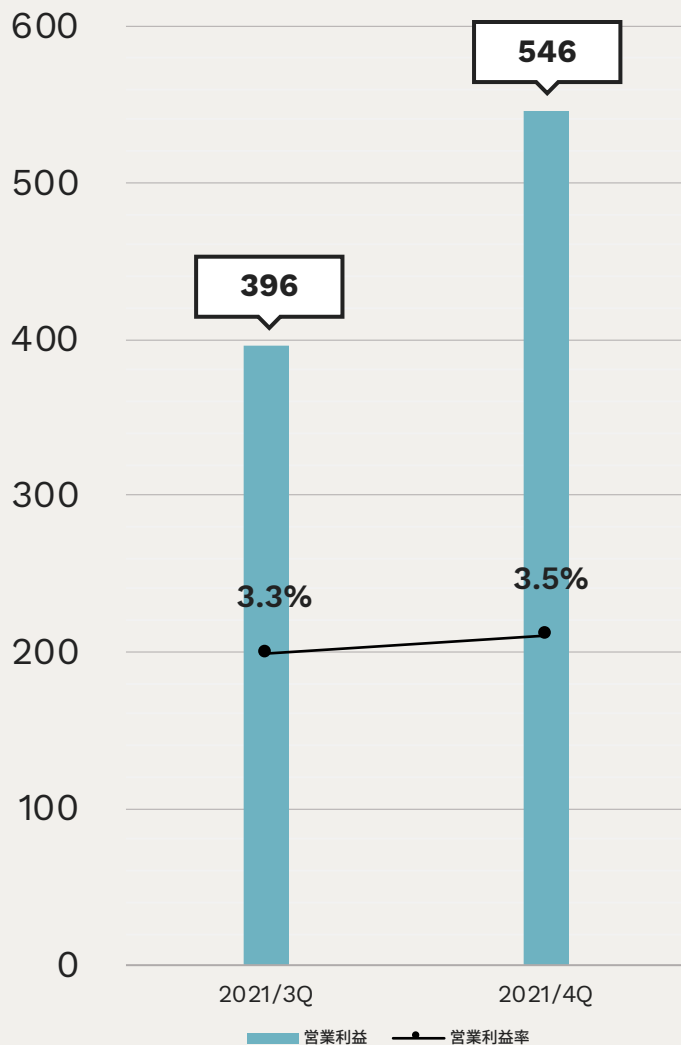
販 管 費 率：13.1%（1.9ポイント減）

主な増加要因

・人件費・採用教育費の増加：約1億14百万円増

営業利益の前四半期比較

単位：百万円



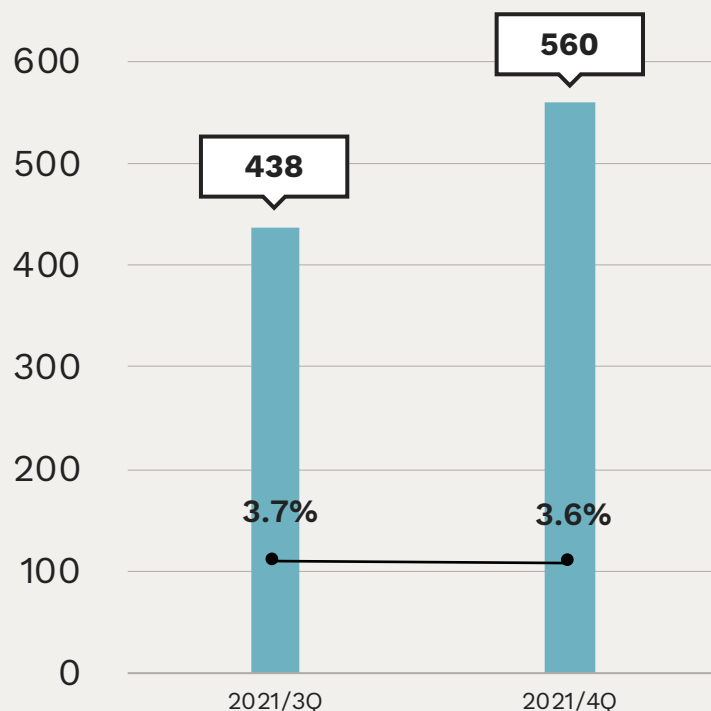
当四半期営業利益 5億46百万円

当四半期比：1億49百万円増（37.7%増）

営業利益率：3.5%（0.2ポイント減）

経常利益の 前四半期比較

単位：百万円



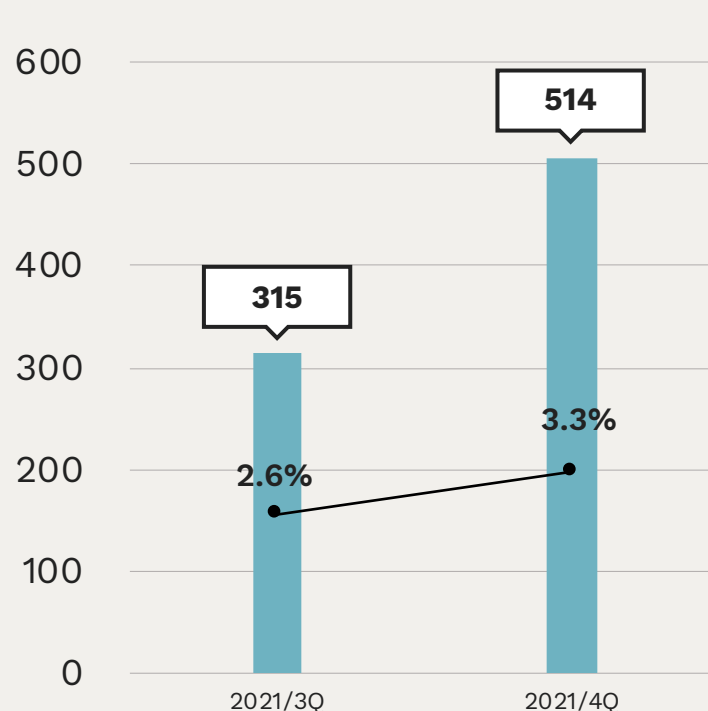
当四半期経常利益 5億60百万円

前四半期比：1億21百万円増（27.8%増）

経常利益率：3.6%（0.1ポイント減）

親会社株主に帰属する 四半期純利益の 前四半期比較

単位：百万円

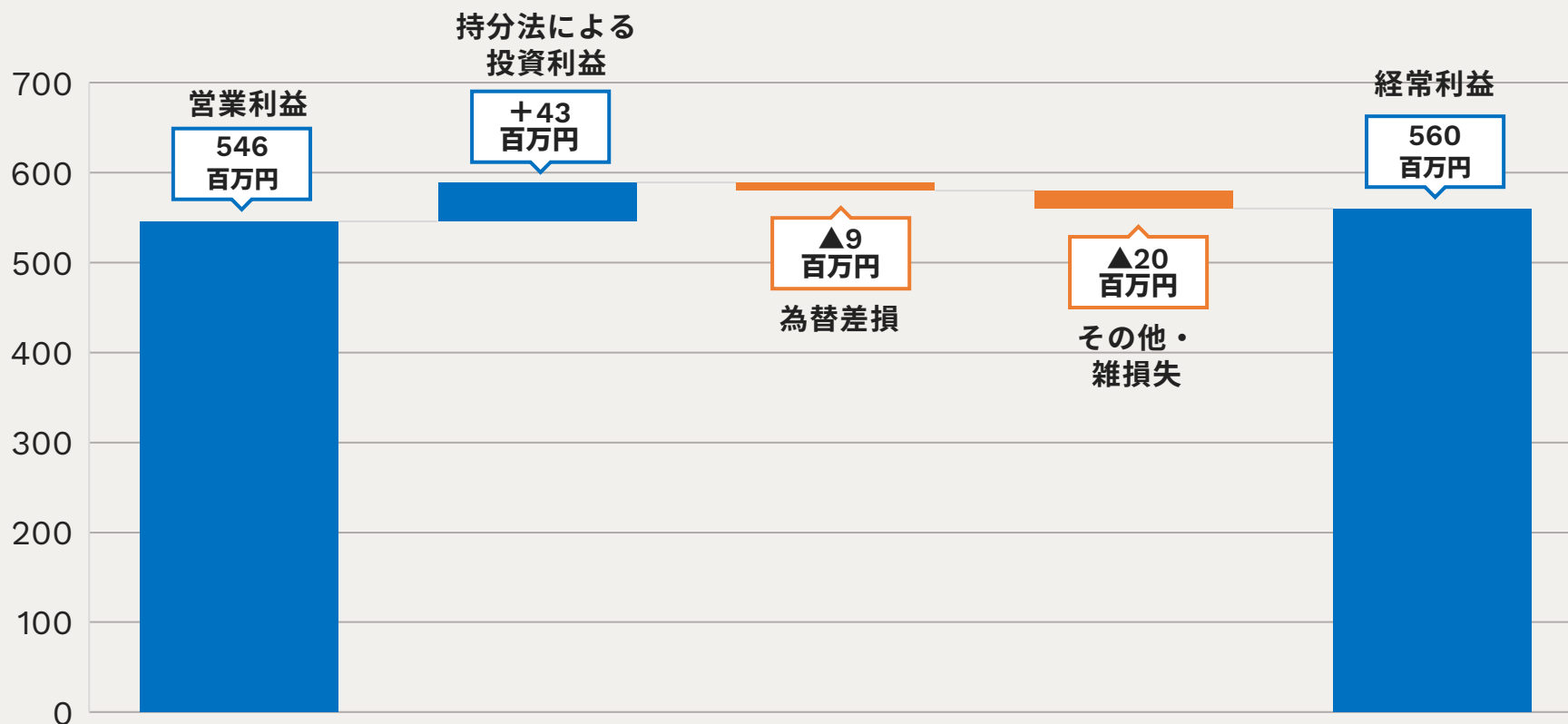


親会社株主に帰属する
当四半期純利益 5億14百万円

前四半期比：1億99百万円増（63.2%増）

利益率：3.3%（0.7ポイント増）

経常利益の推移



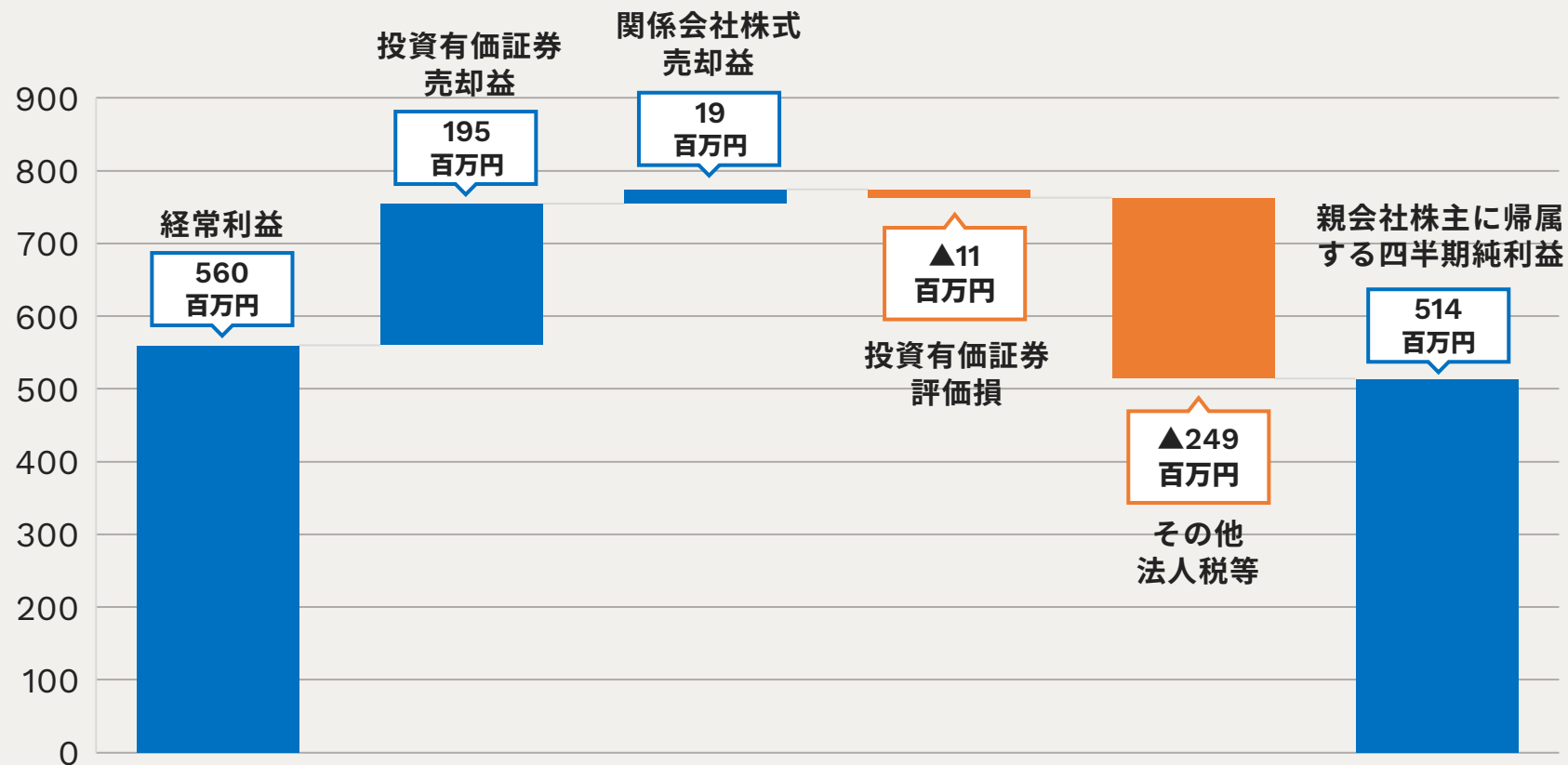
単位：百万円

持分法による投資利益 . . . 43百万円

為替差損 . . . ▲9百万円

その他・雑損失 . . . ▲20百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



単位：百万円

投資有価証券売却益 195百万円

投資有価証券評価損 ▲11百万円

関係会社株式売却益 19百万円

その他法人税等 ▲249百万円

3.

Chapter 3 : **Shareholder returns**

株主還元

株主還元

当社株式の上場市場が東京証券取引所市場第一部に市場変更されたこと
並びに当社が設立20周年を迎えたことを記念し、
1株当たり配当金1円の記念配当を実施致します。

2021年3月期 期末配当 **1株当たり8円42銭**

配当方針（普通配当）

配当性向 **20%** もしくは **1株当たり2円60銭** の高い方

普通配当
(配当性向20%の額)

1株当たり7円42銭

+

記念配当

1株当たり1円00銭

4.

Chapter 4 : Forecasts

業績予想

決算期（事業年度の末日）の変更

（2021年4月22日開示）

経営情報の適時・的確な開示による経営の透明性の向上及びグローバルな事業の一体運営による効率的な事業運営の推進のため、決算期（事業年度の末日）を変更致します。

	国内会社	海外子会社
現在	毎年3月31日	毎年12月31日
変更後	毎年12月31日	毎年12月31日

2021年6月24日に開催予定の第21期定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認される事が変更の条件となります。

決算期（事業年度の末日）の変更

（2021年4月22日開示）

「2021年12月期」は国内会社は9ヶ月間、海外子会社は12ヶ月間となります。（海外子会社については以前から12月決算のため）

	2021年				2022年
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
国内会社 (3月決算)	-	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第1四半期
海外子会社 (12月決算)	第1四半期	第2四半期	第3四半期		第1四半期

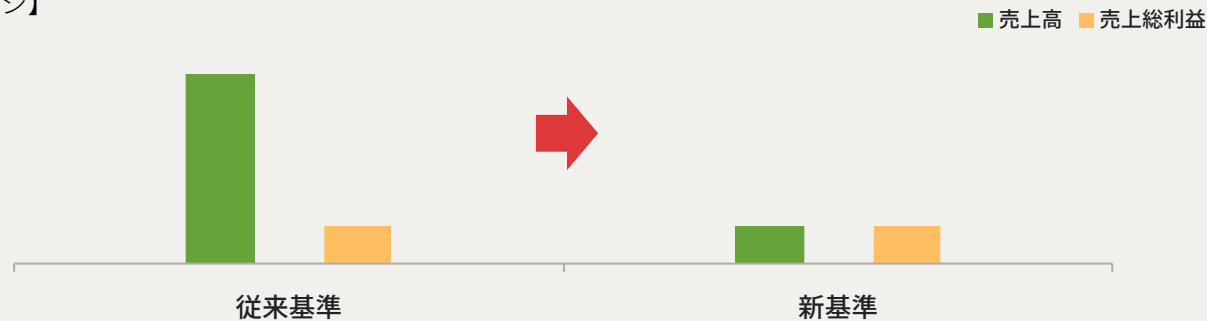
2022年12月期からは国内会社、海外子会社ともに2022年1月1日から2022年12月31日までの12ヶ月間となります。

収益認識基準の適用

2021年12月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)が適用されます。

クライアントからの広告費など（売上高）から、メディアへ支払う掲載費など（原価）を差し引いた金額（従来の基準の売上総利益の額）が、おおよそ、収益認識に関する会計基準の「売上高の額」に相当します。

【適用イメージ】



次ページ、2021年12月期の連結業績予想については、従来の基準に則って計算したおおよその額に関しても記載しております。

2021年12月期業績予想

[単位：百万円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2021年12月期 業績予想 (従来基準・9ヶ月間) ※1 売上高は参考値	38,183	490	580	170
2021年3月期 実績 (9ヶ月間の概算) ※2	34,468	1,131	1,392	962
旧基準の業績予想と 2021年3月期実績 (9ヶ月間の概算) との増減率 ※3	+10.8%	▲56.7%	▲58.4%	▲82.3%
2021年12月期 業績予想 (新基準・9ヶ月間) ※1	7,500	490	580	170

※1：P31記載の通り国内会社は9ヶ月、海外子会社は12ヶ月の業績予想 ※2：2021年3月期連結実績(全連結会社12ヶ月の実績)のうち国内会社の実績を9ヶ月間(4月～12月)とした場合の概算の数値 ※3：小数点第2位を四捨五入

売上高

国内及び海外広告事業が伸長し、売上高が増加。

営業利益

新卒、中途採用などによる人員増強、業務効率化のためのシステム導入費用や事業拡大のための費用などの販管費が増加する事により、営業利益が減少。

経常利益・
親会社株主に帰属する
当期純利益

営業利益の減少に伴い減少。

人・事業・機械への投資

2021年12月期は約7.1億円を投資予定

事業年度	投資額	投資を行った 営業利益	投資を行わなかった 営業利益
2021年12月期 (9ヶ月間)	約7.1億円	4.9億円	約12億円

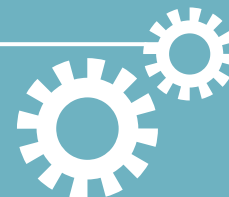
※2021年3月期（9ヶ月間の概算）の営業利益：11.3億円



人への投資
(人員強化)



事業への投資
(事業拡大)



機械への投資
(業務効率化)

「人への投資」「事業への投資」「機械への投資」を行い、
広告事業の地盤固めを行う。

※ここでの投資とは、過去とは異なる経費利用（新規投資）を指します。

配当方針

2021年12月期※以降の配当方針（普通配当）

2021年12月期からの3ヶ年（2021年12月期～ 2023年12月期）の普通配当につきましては、第1期を除く当社事業年度を基準とした配当性向（当期は第22期である為21%）より算出される1株当たりの金額、もしくは1株当たり配当金2円70銭を基準に每期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途といたします。

3ヶ年（2021年12月期～ 2023年12月期）の配当方針

第22期

2021年12月期

配当性向21%

もしくは

1株当たり2円70銭

の高い方

第23期

2022年12月期

配当性向22%

もしくは

1株当たり2円80銭

の高い方

第24期

2023年12月期

配当性向23%

もしくは

1株当たり2円90銭

の高い方

ただし、大きな業績の変動や大規模なM & A等の経営環境等の変化によって、配当方針を変更する可能性があることにご留意ください。

※決算期（事業年度の末日）を毎年3月31日から毎年12月31日へ変更を予定しております。詳しくは本資料の30ページをご確認ください。

5.

Chapter 5 : business overview

事業概況

新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について

当社グループの事業領域がオンライン中心のため、2021年3月期第3四半期に引き続き2021年3月期第4四半期についても、業績に対する大きな影響はありませんでした。

※下記は、新型コロナウイルスの影響のみについての記載となり、通常の営業活動による売上高・利益の増減は考慮しておりません。

マンガアプリ 事業規模：大

【第4四半期（実績）】影響：多少プラス

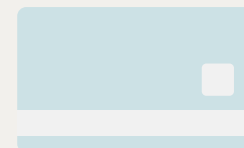
緊急事態宣言の再発令に伴う外出自粛の影響により需要が拡大し広告費増加。



金融 事業規模：大

【第4四半期（実績）】影響：なし

緊急事態宣言が再発令されるも、第3四半期に引き続き影響なし。



コマース 事業規模：小

【第4四半期（実績）】影響：なし

第2四半期まではオンラインの消費行動の増加により順調であった販売が、第3四半期以降は新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻る。



VOD（ビデオ オン デマンド） 事業規模：小

【第4四半期（実績）】影響：なし

第3四半期までは外出自粛の影響で需要が増加していたものの、顕在顧客の獲得が完了した事により新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻る。



新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について

当社グループの事業領域がオンライン中心のため、2021年3月期第3四半期に引き続き2021年3月期第4四半期についても、業績に対する大きな影響はありませんでした。

※下記は、新型コロナウイルスの影響のみについての記載となり、通常の営業活動による売上高・利益の増減は考慮しておりません。

ゲームアプリ 事業規模：大

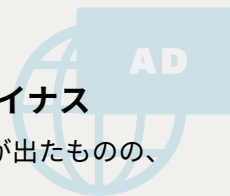


【第4四半期（実績）】影響：多少マイナス

第3四半期に引き続き、開発遅延の影響を受け広告出稿にも遅れが発生。(通常の営業活動により売上高は伸長)

海外広告 事業規模：中

※海外子会社の決算期は12月のため、第4四半期は10～12月となります。



【第4四半期（実績）】影響：多少マイナス

ブランド広告事業では多少マイナスの影響が出たものの、アプリ広告事業には影響なし。
(ブランド・アプリ広告事業は通常の営業活動により伸長)

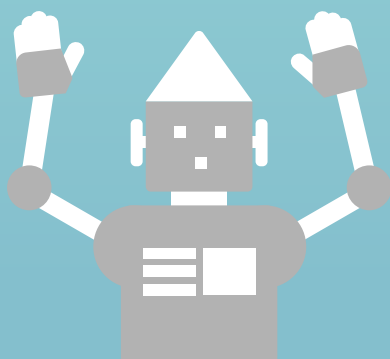
ブランド 事業規模：小



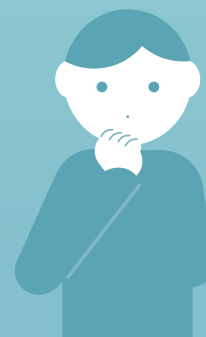
【第4四半期（実績）】影響：多少マイナス

ブランド広告主の出稿控えが回復傾向にあるものの、完全には回復せず。

人と機械の共生



人にはできないことを
機械化



機械にはできないことを
人に集約

+ パフォーマンスの **最大化** +

The background features a dark space with several concentric circles in white, yellow, and blue. Scattered throughout are white dotted lines forming various geometric shapes, including triangles and polygons. The Unicorn logo, a white hexagon with a stylized 'U' inside, is positioned to the left of the text.

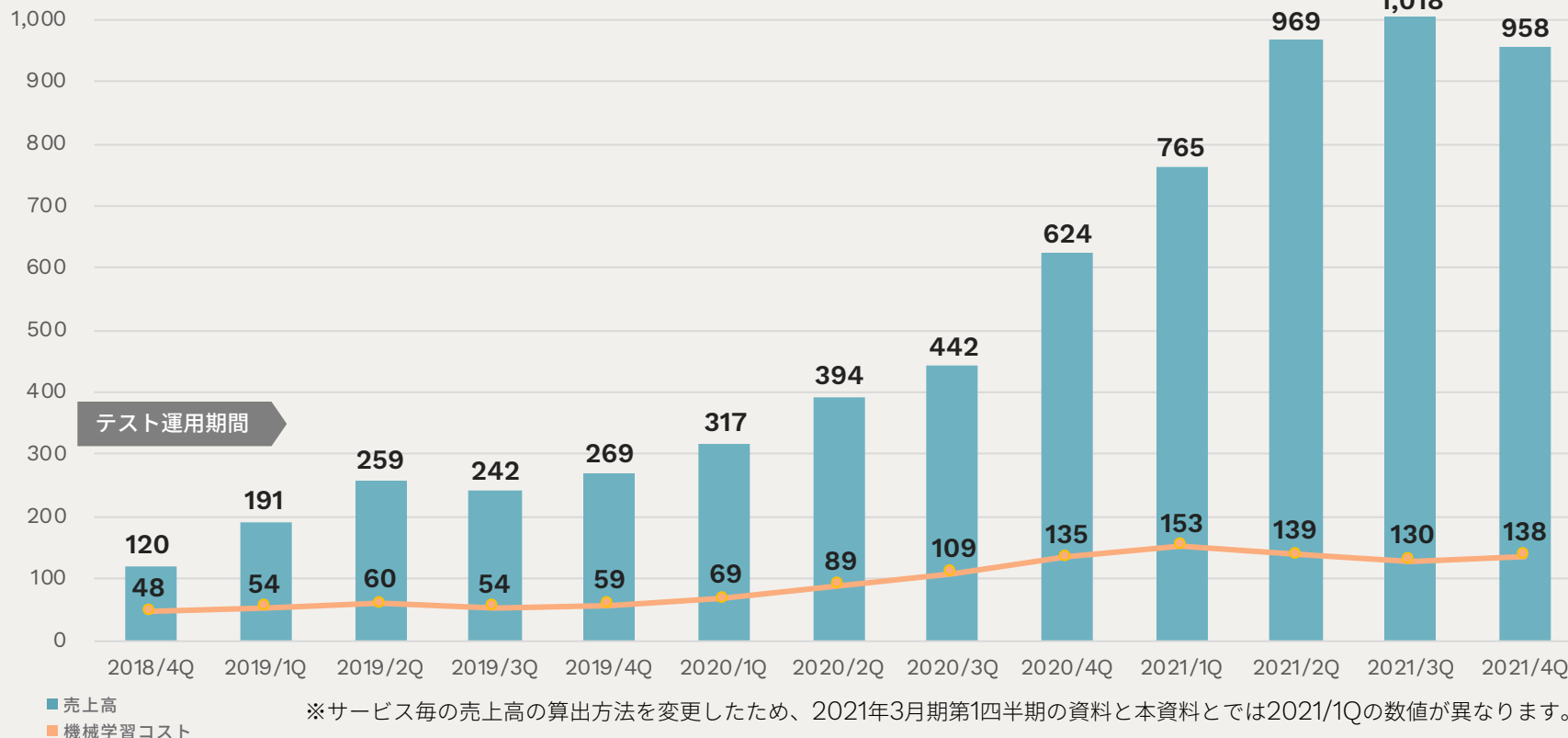
UNICORN
REDEFINE DIGITAL MARKETING

UNICORNの進捗

Fourth quarter

UNICORNの売上高／機械学習コスト推移

単位：百万円



次なる成長に向けた最適化を図った為、売上高は微減。

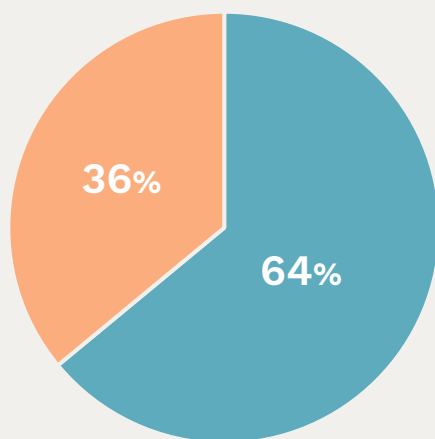
About UNICORN

UNICORNの進捗

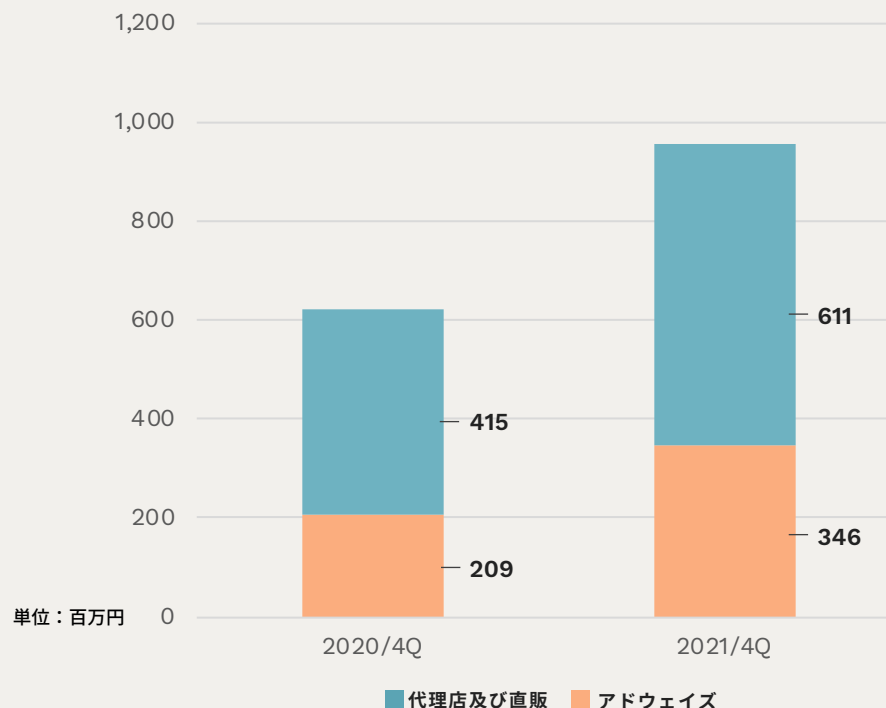
Fourth quarter

代理店への販売状況

2021年3月期4Q実績



■ 代理店及び直販
■ アドウェイズ



UNICORNを主要代理店に開放



※名称順

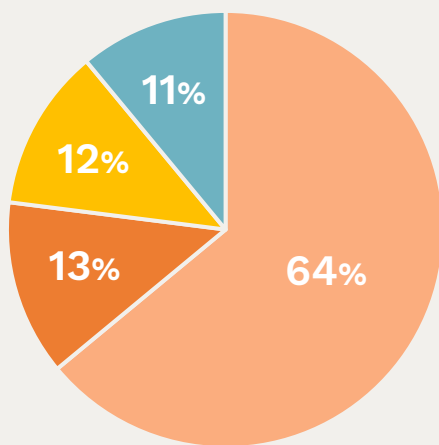
About UNICORN

UNICORNの進捗

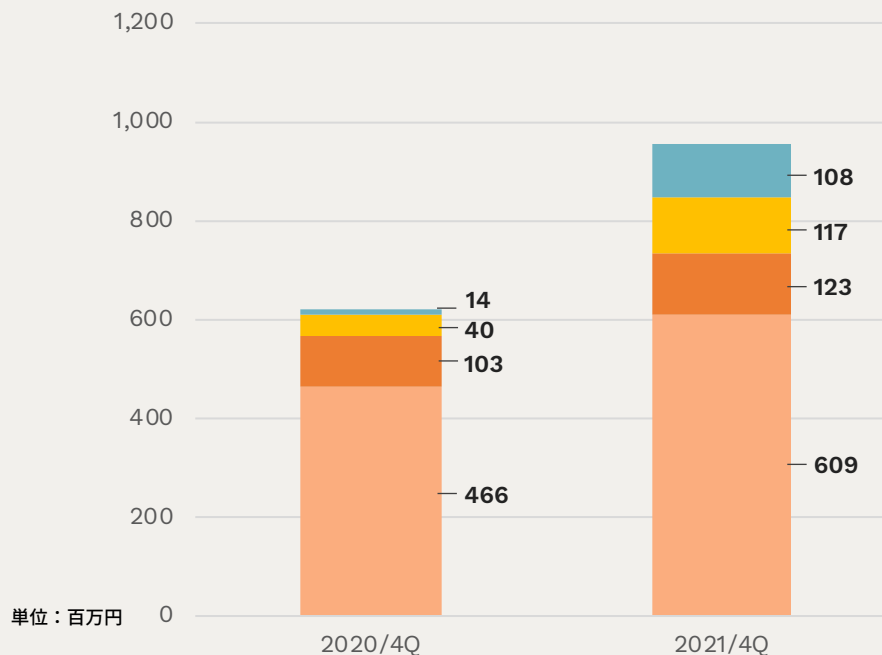
Fourth quarter

ジャンル別進捗

2021年3月期4Q実績



ゲーム マンガ VOD その他



ゲーム マンガ VOD その他

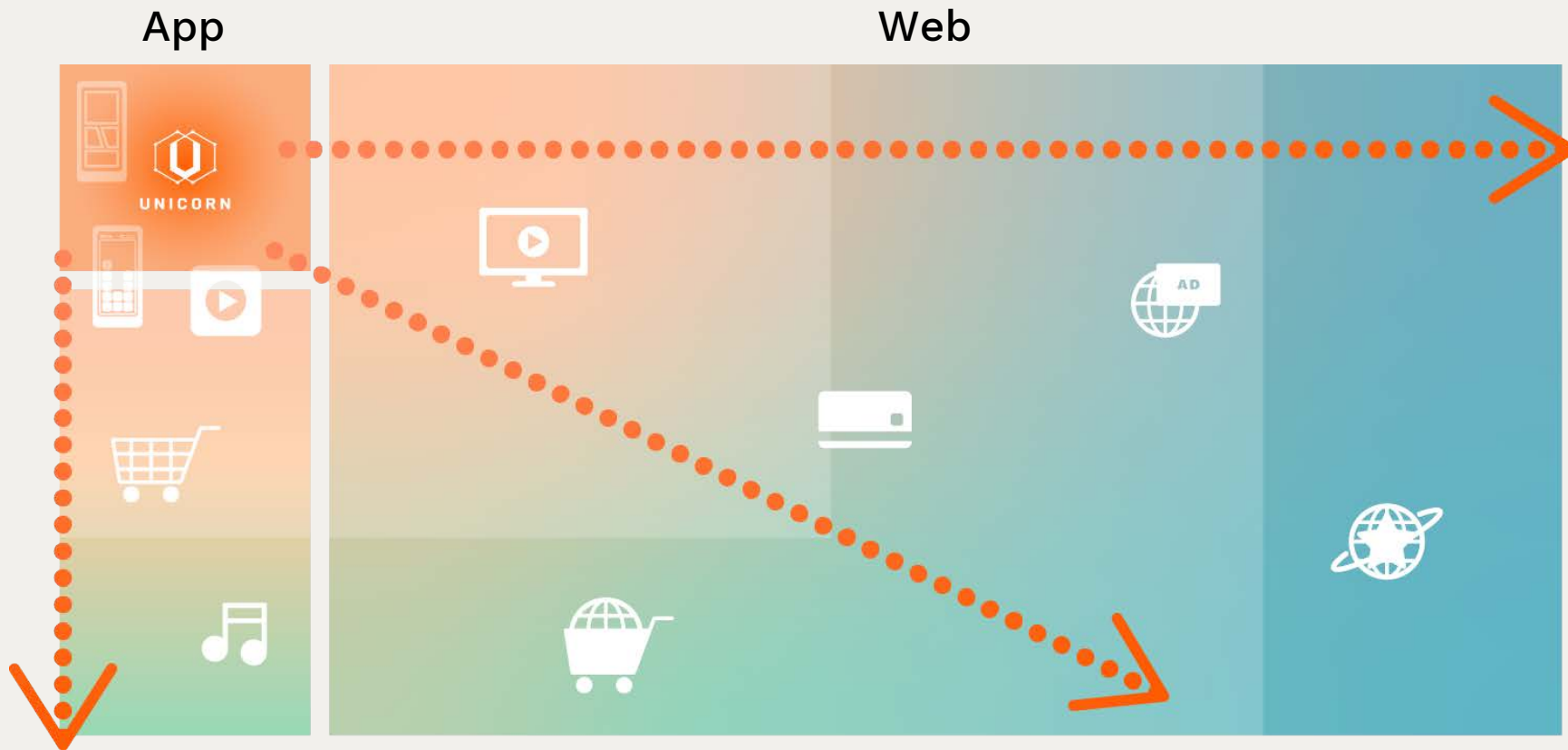
各ジャンルで伸長

その他ではブランド、非ゲームアプリが大幅に増加。
また、ECなどのWebパフォーマンス案件についてもテストを開始。

About UNICORN

UNICORNの可能性

Fourth quarter



**Web領域クライアントの拡大を進め
更なる成長を続ける。**

About UNICORN

UNICORNの可能性

Fourth quarter

Googleの広告ネットワークを通じた
コネクテッドTV向け広告配信の提供

国産デジタル屋外広告プラットフォーム
「GENIEE DOOH」と連携



スマートフォンのみならず、ユーザーとの接点を
増やす事でブランドの認知と獲得を全方位的にアプローチ

About UNICORN

ブランド広告主

への

取り組み

先進的な広告手法 UNICORN Interactive AD



最先端の
クリエイティブ
フォーマット

Banner／Video
Reward Video
Native／Interactive



UNICORNでの
高精度な
ターゲティング

コンテキスト／ロケーション
デモグラフィック
キャリア／承認リスト
(approved list)

これまでに無かったクリエイティブで、
これまでは出会えなかったユーザーと
全く新しい形のコミュニケーションを実現。

Web ARを活用した ユーザー体験型コンテンツを提供

Fourth quarter



映画『サイレント・トーキョー』



映画『モンスターハンター』

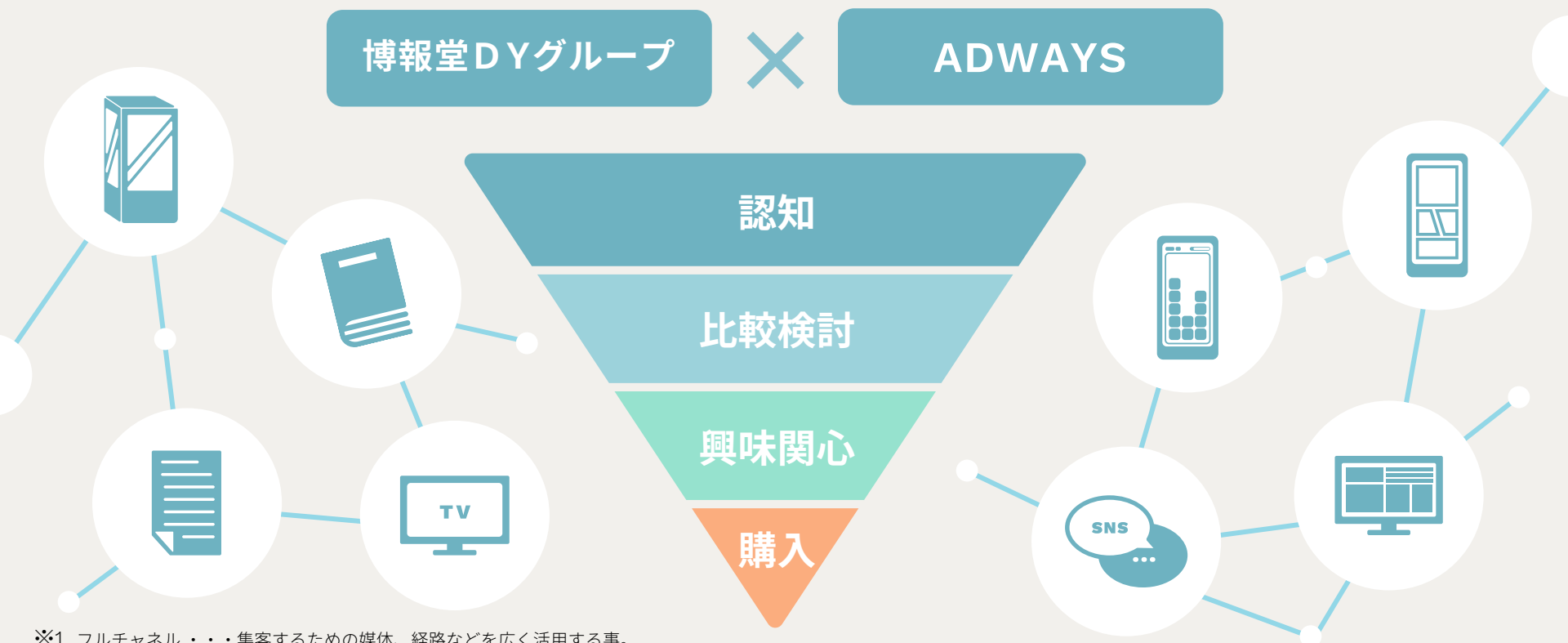
専用アプリのインストールの必要はなく、
身近な風景の中にアニメーションを駆使したARを配置し、
映画の世界観をよりリアルに体験することが可能。

博報堂DYメディアパートナーズ

資本業務提携の
進捗

オフライン&オンラインの統合プランニング による包括的なマーケティング支援

フルチャネル※1・フルファネル※2での包括的なマーケティング支援を実現。
マルチニーズ、マルチターゲットに対してアプローチが可能。



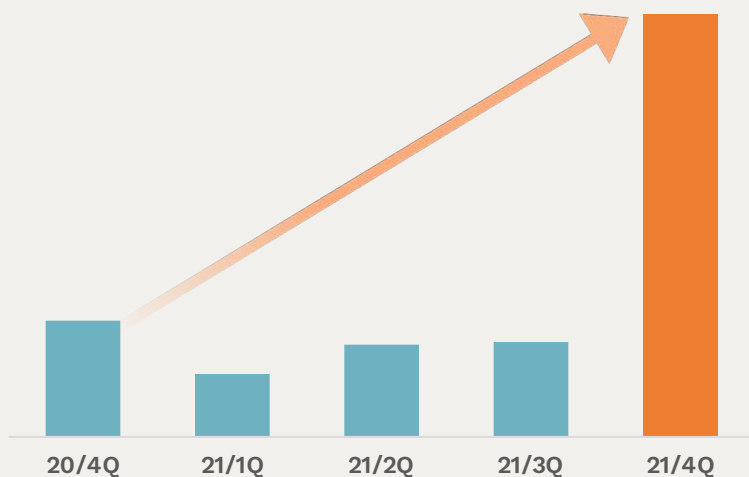
※1 フルチャネル・・・集客するための媒体、経路などを広く活用する事。

※2 フルファネル・・・消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事。

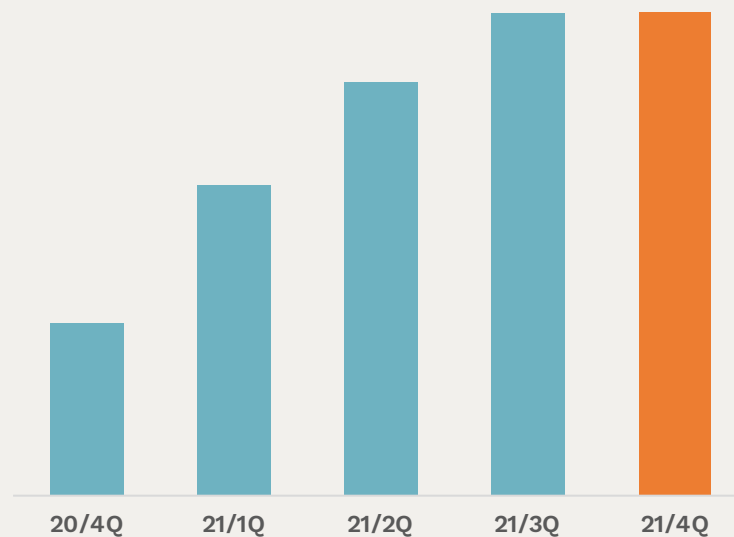
資本業務提携の進捗

Fourth quarter

売上高推移



博報堂DYグループ協業
アカウント数推移



売上高は前年同期比3倍超と大幅に伸長。



Beyond Everything Internet

インターネットの全てを越えていく

はい、すげー
みんなの初めて

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2021年5月13日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

6

Chapter 6 : Supplementary materials

補足
資料

連結売上高 年間業績推移

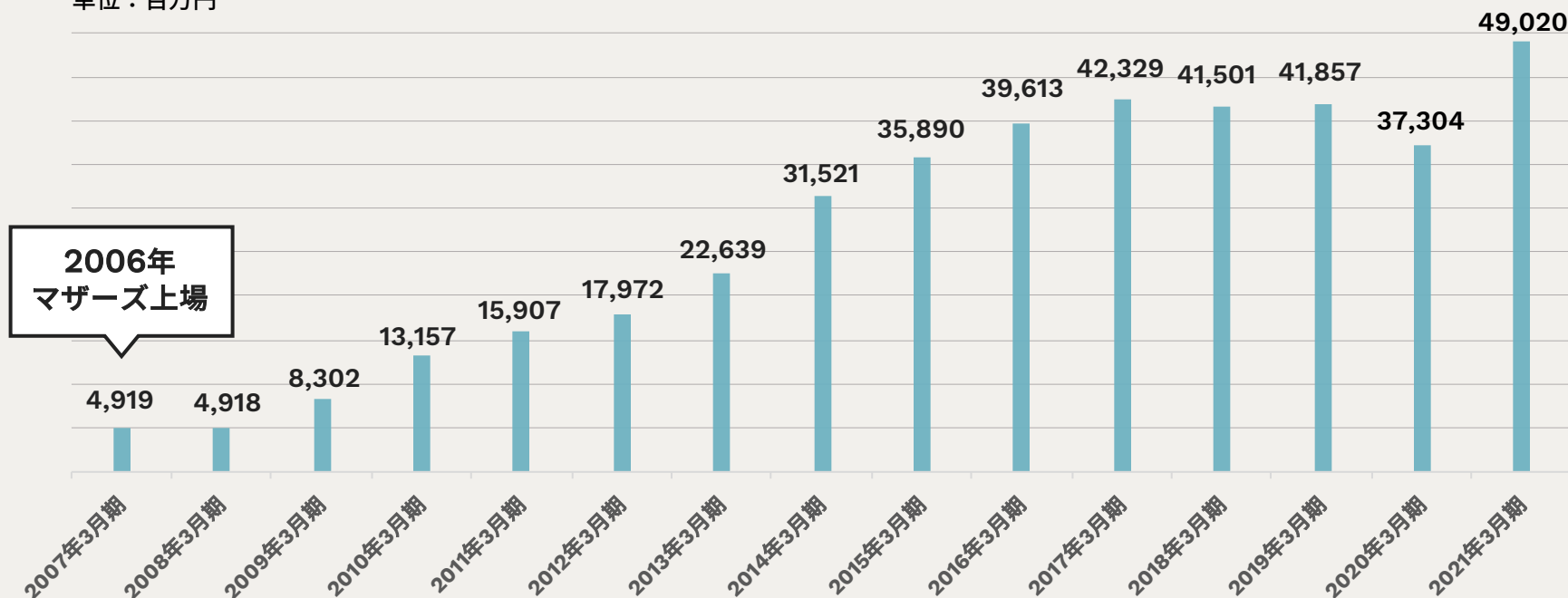
PC/フィーチャーフォン
アフィリエイト事業に注力

スマートフォン広告事業
の開始と拡大

海外への注力

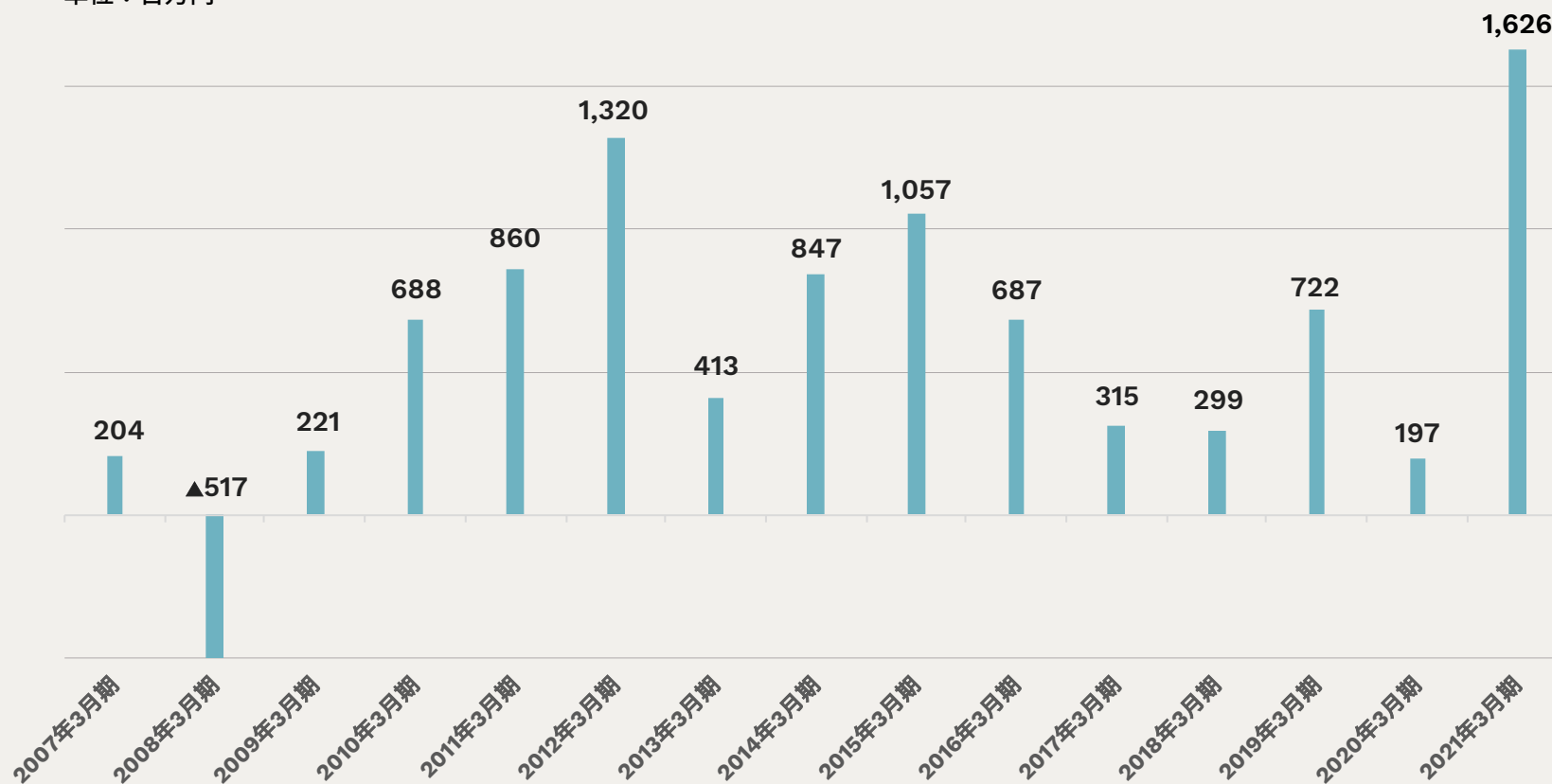
新規プロダクト
への注力

単位：百万円



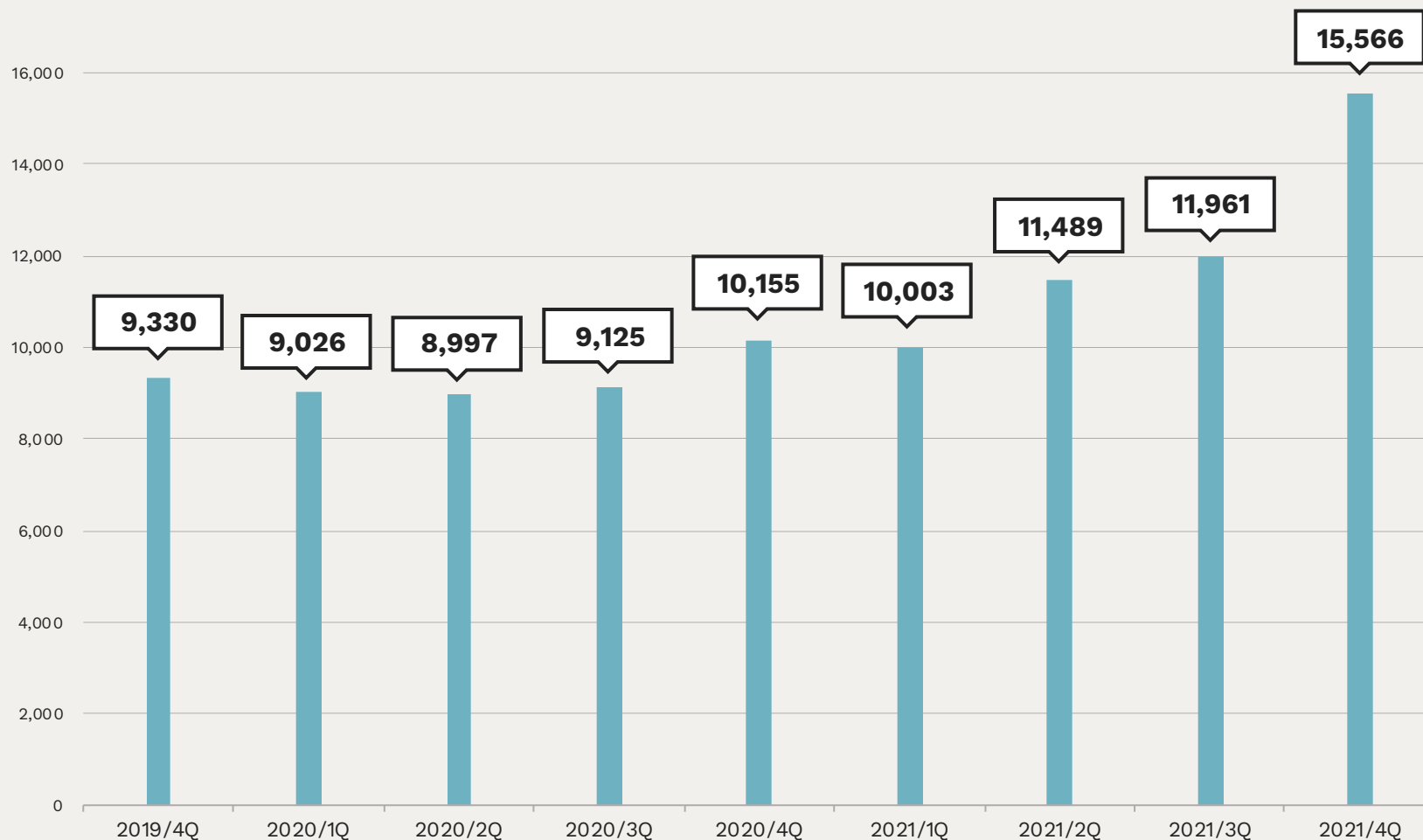
連結営業利益 年間業績推移

単位：百万円



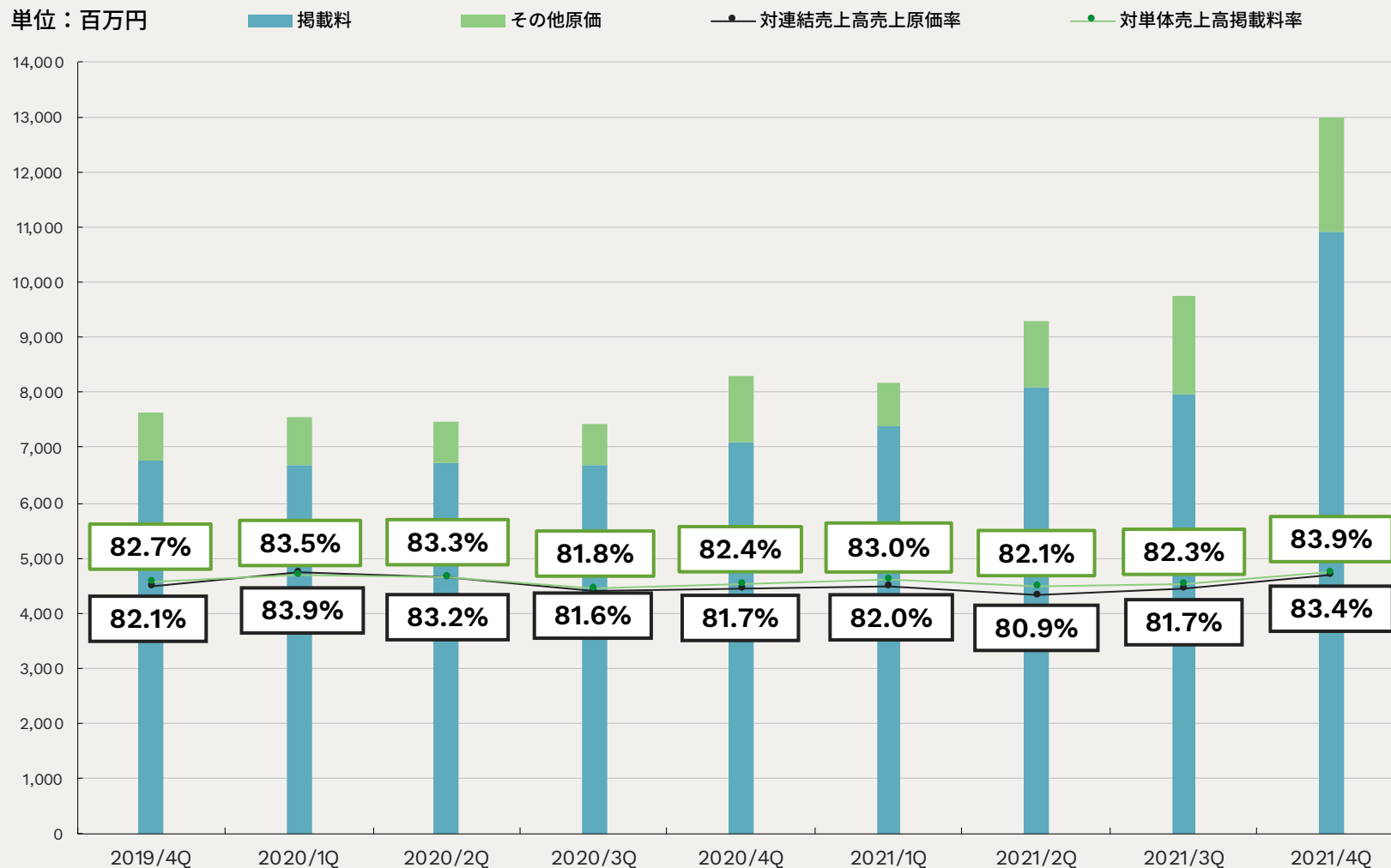
連結売上高 四半期推移

単位：百万円



連結売上原価 四半期推移

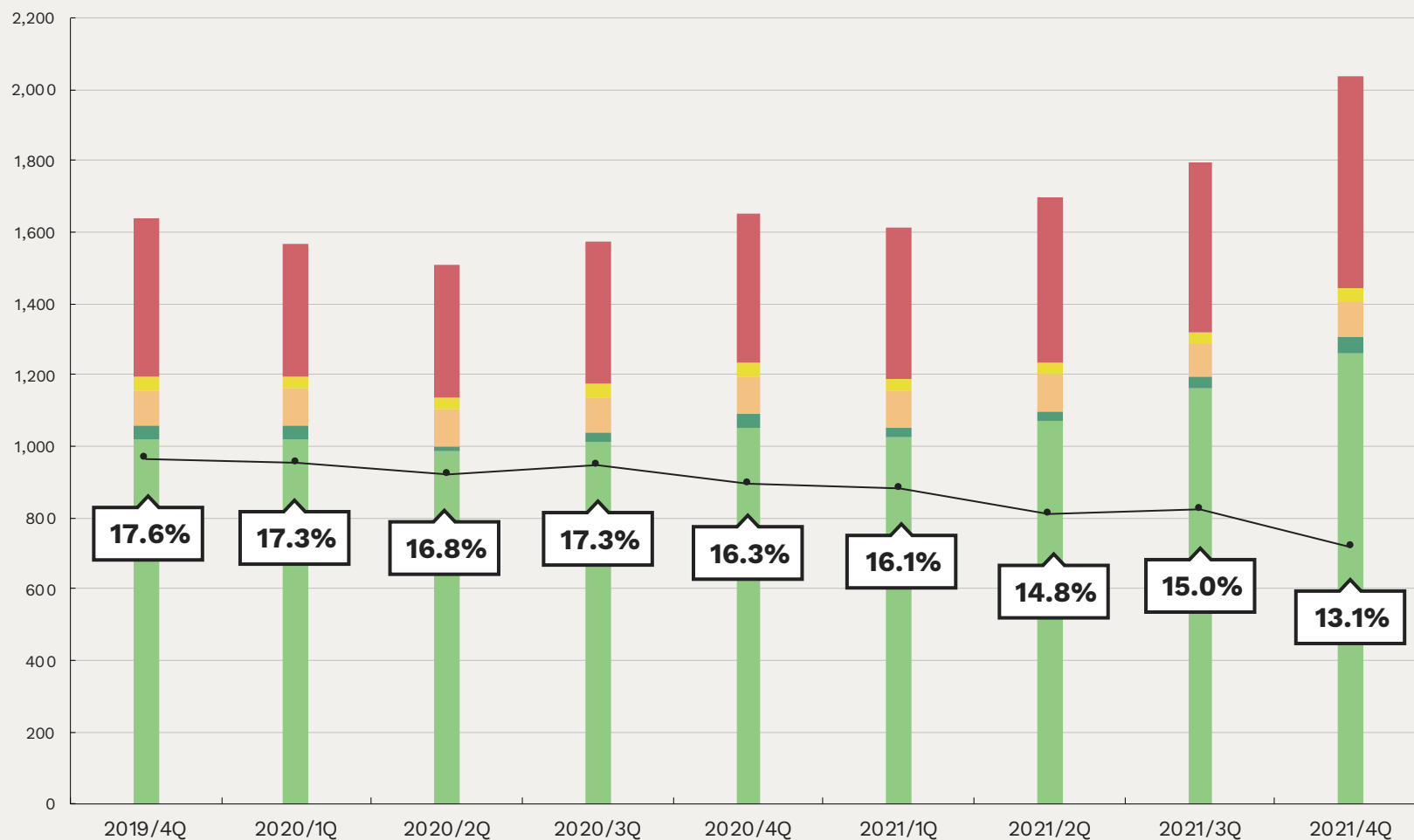
単位：百万円



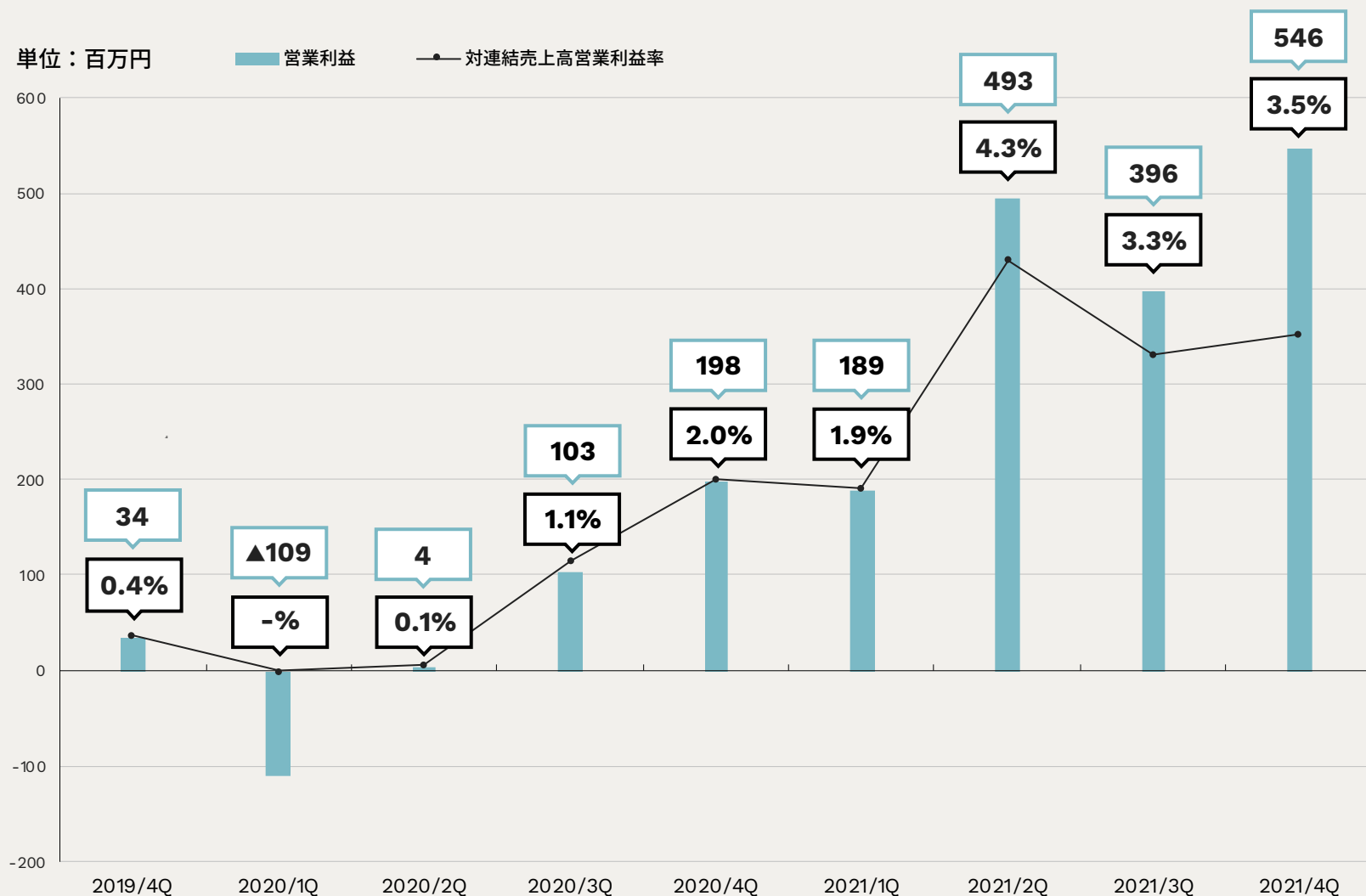
連結販管費 四半期推移

単位：百万円

人件費 採用教育費 地代家賃 減価償却費 その他経費 対連結売上高販管費率



連結営業利益 四半期推移



連結貸借対照表(前四半期比)

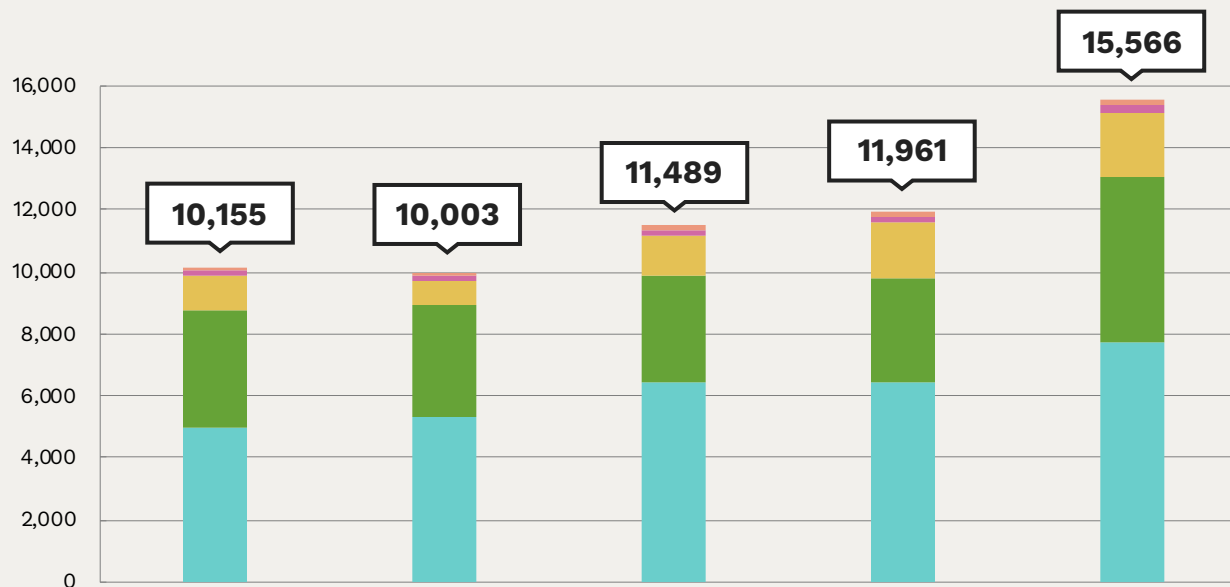
[単位：百万円]

	2021年3月期4Q	2021年3月期3Q	増減額	増減率
流動資産	20,275	19,105	+1,169	+6.1%
(現金)	9,944	11,973	▲2,028	▲16.9%
固定資産	3,473	3,602	▲129	▲3.6%
総資産合計	23,748	22,708	+1,040	+4.6%
流動負債	12,275	8,575	+3,699	+43.1%
固定負債	249	346	▲97	▲28.2%
負債合計	12,525	8,922	+3,602	+40.4%
純資産合計	11,223	13,785	▲2,562	▲18.6%

自己株式の取得を行った事により、純資産額が減少しております。

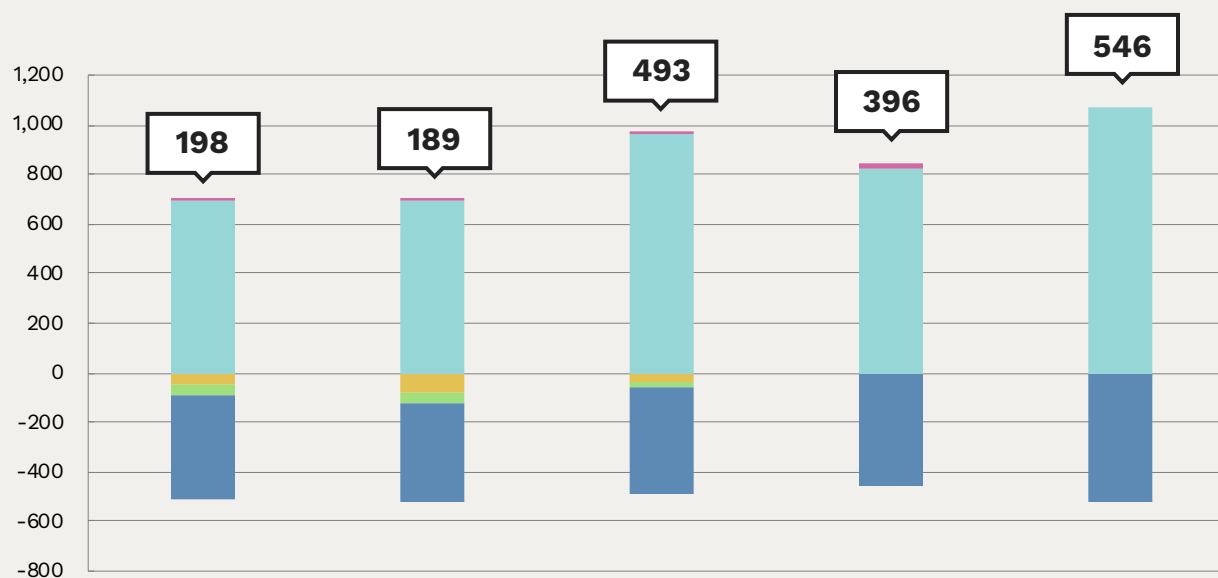
(自己株式の取得の詳細については、本資料の4ページをご確認ください。)

セグメント内訳別連結売上高構成比 四半期推移



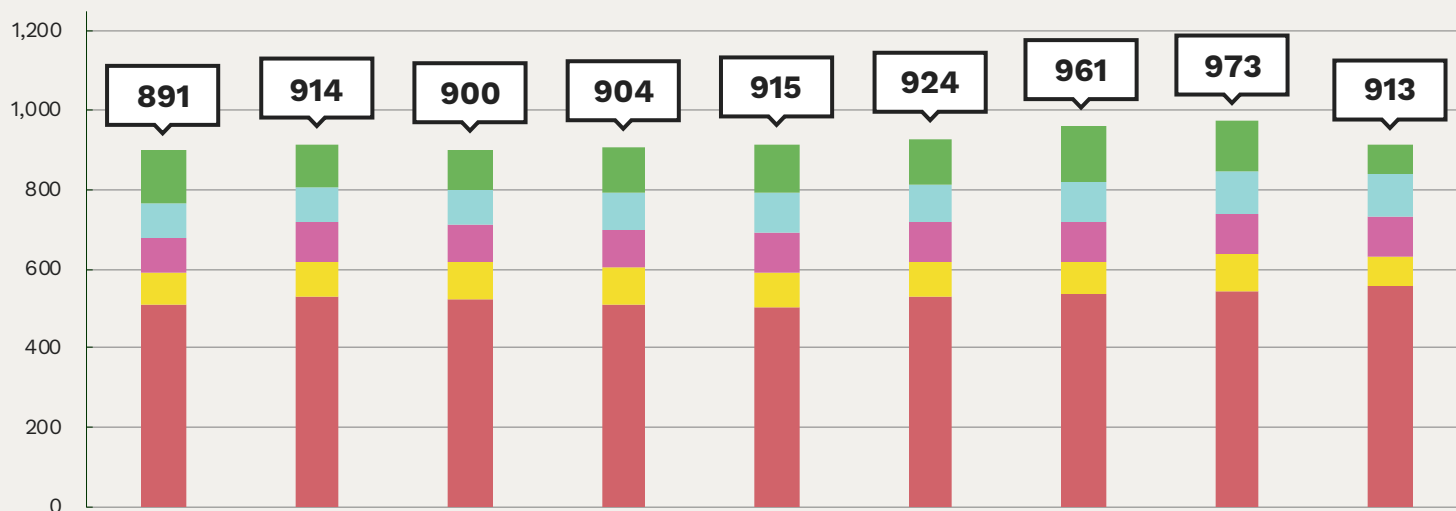
						前四半期比	
	2020/4Q	2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q	2021/4Q	増減額	増減率
スマートフォン	4,957	5,306	6,458	6,408	7,756	+1,347	+21.0%
インターネット	3,784	3,629	3,446	3,429	5,312	+1,882	+54.9%
海外	1,167	814	1,261	1,744	2,097	+353	+20.2%
メディアコンテンツ	162	146	190	202	216	+14	+7.1%
その他	82	106	132	176	183	+7	+4.2%
合計	10,155	10,003	11,489	11,961	15,566	+3,605	+30.1%

セグメント内訳別連結営業利益構成比 四半期推移



						前四半期比	
	2020/4Q	2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q	2021/4Q	増減額	増減率
広告	699	697	960	828	1,068	+239	+28.9%
海外	▲50	▲77	▲34	▲5	0	+4	—
メディアコンテンツ	10	11	17	20	0	▲20	▲97.8%
その他	▲38	▲49	▲27	▲4	▲9	▲4	—
消去又は全社	▲423	▲392	▲423	▲442	▲512	▲69	—
合計	198	189	493	396	546	+149	+37.7%

当社グループの従業員数 四半期推移



単位：名		2019/4Q	2020/1Q	2020/2Q	2020/3Q	2020/4Q	2021/1Q	2021/2Q	2021/3Q	2021/4Q
■	日本アドウェイズ	510	533	521	512	506	533	535	546	558
■	中国アドウェイズ	78	84	95	91	88	82	83	90	75
■	国内子会社	90	102	99	96	100	102	100	105	99
■	海外子会社（中国以外）	90	85	87	92	96	98	104	107	110
■	派遣／アルバイト等	123	110	98	113	125	109	139	125	71
合計		891	914	900	904	915	924	961	973	913

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）	
設立年月日	2001年2月28日	
事業概要	インターネット関連事業	
代表者氏名	岡村 陽久	
資本金	1,622百万円	[2021年3月末日現在]
売上高	49,020百万円	[2021年3月期連結]
従業員数 ※臨時雇用者含む	913名（グループ全体）	[2021年3月末日現在]